

## 資料6. 投票項目の詳細と自由記述一覧

### テーマ1『商品選択から考えるゼロカーボン』

#### 施策1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する

商品を購入する際、プラスチックなどの容器や包装がない、もしくは少ない商品を選択する。また、マイボトルの利用などの日常生活の工夫に加え、商品を購入する際にはレジ袋を使わない。事業者等は地域共通のリユース容器を繰り返し使えるような仕組みを作る。

選択	自由意見
②あまり推進すべきでない	C02削減効果は小さく、イノベーションにつながる要素も少ないように思える。一方、企業は自社のイメージダウンを避けるために取り組まざるを得ない。企業・消費者双方にとってデメリットの方が大きい施策にみえる。
③どちらでもよい	マイバッグ、マイボトルの作成時にかかる環境負荷は考慮されているのか。裏ではこれらが大量廃棄されている実態はないのか。
③どちらでもよい	所沢市のみで推進できる事柄では無く、流通される範囲全ての地域に関わる事だから。
④推進すべき	レジ袋については、自宅で小さいサイズのゴミ箱にセットするなど、活用している人も多いと思います。必ずしもゴミになっていると言えないレジ袋よりも、使い捨ての包装などにフォーカスした方が良いのではないのでしょうか。 またマイボトルやマイ箸のユーザーは、持参による割引等もメリットとして数えている可能性が高いため、そういった市のイベントを開催することで普及するのではないかと思います。
④推進すべき	マイボトルのも市役所に行って初めて知ったので、量り売りなどをする場合無印とかナチュラルローソンみたいな行ったらある場所が明確だといいです。
④推進すべき	自分でできることを行い、抵抗感のある裸売りなどは市民の意識改革が必要。
④推進すべき	自分の欲しい商品が、必ずしもそういった簡易包装やリユース対応になっているとは限らない。生産者側の理解と協力も、必要
④推進すべき	事業者の協力が重要。過剰包装をやめる。衛生面を保てる程度の包装に留めて欲しい。意識して買い物していてもプラスチックゴミが多く出てしまう。
④推進すべき	みなさん今も実施されていると思うので継続する
④推進すべき	関係するキーワードすべてに対して同じ意見ではありません。量り売り・裸売りなどは、現在の生活を考えると非現実的にも思えます。
⑤積極的に推進すべき	実際前から行っているが、結局は継続になり、変化がないと思う
⑤積極的に推進すべき	レジ袋は便利なので、マイバッグなどの代替手段を充実させたい
⑤積極的に推進すべき	共通リユースボトルを個人経営の商店でも参入しやすくしたり、返却をしやすくしたりしていると普及しやすくなるのではないのでしょうか。

⑤積極的に推進すべき	ラベル削減効果としては、ラベルに使用するプラスチックの削減に加えてラベル製造に掛るコスト低減にも繋がるメリットがあると考える。
⑤積極的に推進すべき	ごみをなるべく減らしていく試みは大切であると考える
⑤積極的に推進すべき	小分け包装は食品の長期保存と必要な分だけ都度購入、食べられる事から、食品ロスの削減といった観点では優れているのかも知れませんが、包装ゴミが大量に発生するデメリットがあり、全てとは言わないが、衛生面での懸念が少なく比較的長期保管が可能な食品などは量り売りや詰め替えによる販売を検討すべきと考えます。
⑤積極的に推進すべき	食品購入が一番身近であり、影響が大きいと思います。
⑤積極的に推進すべき	大量消費時代のため、小売が効率的に出来る仕組みが必要。近場のスーパー等で出来ると便利と思います。
⑤積極的に推進すべき	衛生上夏場は避ける
⑤積極的に推進すべき	必要な分を買う事でフードロスの削減、ごみを減らすことで焼却による二酸化炭素排出削減と埋め立てによる自然環境への影響減少
⑤積極的に推進すべき	(ペットボトルが市場に現れたとき、いずれは「問題になる」と思われていたのに現在に至っています) 量り売り、詰め替えの選択肢はもともと消費者にはあったのに、市場から消費の選択を無くしただけだから大丈夫！！

## 施策2. リユースやリサイクルを促進する

商品をそのまま繰り返し使用している「リユース品」や、リサイクル原料を使用している「再生品」を意識し、このような商品を積極的に選択する。不要になったものはすぐに捨てず、リユースやリサイクルが可能かどうか確認し、可能であれば積極的にリユースやリサイクルに回す。また、前提として商品を購入する際には、まずそれが本当に必要なものか、また長く使うことができるものかを十分検討することを心掛ける。事業者や行政は、リユースやリサイクルの仕組みや回収場所などの情報を発信し、簡単にリユースやリサイクルに取り組めるような環境づくりに取り組む。

選択	自由意見
③どちらでもよい	コロナ禍でなければ推していきたいけど、どうしても誰が使ったかわからないので怖い。もったいない市とかも分類や保管場所が大変そうなので、できれば…くらいならできそうではある。
④推進すべき	市が主催するフリーマーケット等が増えると良いのかなと思いました。
④推進すべき	サーマルリサイクルという名目で燃やされないようにする必要があると思う。
④推進すべき	物を長く使うことには賛成。一方で手間やトラブルのリスクを考えると中古品売買には手をなかなか出せない。
④推進すべき	布製品と電化製品は分けて考えるべき。中古電化製品は時に火災の原因となる。
④推進すべき	リサイクルショップ、フリーマーケット、市の取り組みなど、ツールは多くなってきていると感じるが、商品の耐久性、保証期間の課題がある。
④推進すべき	基準を設けてまずはリサイクル、リユースできそうなカテゴリのものを試験的に引き取りと販売ができる場（店舗？）をつくる。やってくれそうなNPOを探す。
④推進すべき	中古家電等は、その原材料を次に使う事に重きをおくのか、中古家電ゆえに二酸化炭素排出量が多く、効率が悪くなってしまふこととも考えられるので、その見極めが大切。
④推進すべき	電化製品は安全面を考えると個人間でのやり取りではなく専門業者が回収しメンテナンス後特定の場所で販売する方が安全を担保してもらえる安心感が出る
④推進すべき	スーパーなどでも、トレーやペットボトルのリサイクルはかなり定着していると思います。ポイントが付くことでより積極的に取り組みしていると考えます。
④推進すべき	実施している方もいられる。ただ、フリマなどクリーニング済みのものと出店の際にいわれることあり。その時の経費も考慮するとどうか。
⑤積極的に推進すべき	ヨーロッパみたいに、消費者に対して何かしらの還元があると、もっとたくさんの方が行ってくれると思う
⑤積極的に推進すべき	使用済みの容器を洗ってから捨てることはリサイクルにも衛生にもよい

⑤積極的に推進すべき	<p>所沢市の中央エリア(所沢駅～新所沢駅～小手指駅あたり)にはリサイクルショップが複数店舗あり、航空公園でも定期的にフリーマーケットが開催されています。いずれも徒歩か自転車で行ける距離なので頻繁に利用しています。</p> <p>リユース・リサイクル品の購入は「他の商品と比べて品質が許せるか」「新品と比べて価格が適正か」の2点が判断基準だと思います。そのため1つの商品や1つの店だけでは消費者とのマッチングが難しいというのが現状ではないでしょうか。徒歩圏内で複数の店舗や商品が比較できる、複数の店舗をまわってそれぞれの店で商品話し合い足すことができる、という環境が市内全域に整えば、より多くの方がリユース・リサイクル品の購入率を上げられると思います。</p>
⑤積極的に推進すべき	メルカリなどのフリマアプリ等で自由に売り買いできる時代になっているので、進めるべき
⑤積極的に推進すべき	<p>販売側も容易にリユース、リサイクルが可能で、中古品であっても安心して利用出来る様にメンテナンスサービスなどの仕組みを検討してほしい。</p> <p>また行政もそのような仕組みを行う企業に対する優遇措置を行うなど検討が必要。</p>
⑤積極的に推進すべき	情報発信面でも課題があると思います
⑤積極的に推進すべき	再生したほうがコストがかかる時がある
⑤積極的に推進すべき	中古の服や家具の活用、必要な人に譲る→この商品世界においては、メディア(雑誌)が「新しい」ものとして流行させすぎたツケが回っていますね。服もカバン(バッグ)も机も自転車も・・・もともとは直して使っていくものなのです。
⑤積極的に推進すべき	まずは悪質な事業者を排除する仕組みが欲しい。質が高く健全な事業者が馬鹿をみないことが重要だと考える。
⑤積極的に推進すべき	月に1回、市の古着・古布回収の日があるが、その日に出したものがリサイクルされていることをもっと広報した方が良いと思う。コロナの後、現在、地域によっては、廃品回収のときに古着・古布回収をしていない地域もある。すると、月に1回の古着・古布回収に出さずに燃やせるごみに出している家庭が結構あるように思います。

### 施策3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する

行政と事業者等が連携して、商品のカーボンフットプリントやリサイクル原料の割合などの「見える化」を進め、キャラクターなどを使って認知度の向上を目指し、商品のパッケージや売りにわかりやすく表示する。消費者は輸送距離の短いもの、保存や販売にかかるエネルギーが少ないもの、カーボンフットプリントが小さい商品やサービスを選択・購入するよう努める。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	どう頑張っても魚の地産地消はできない
④推進すべき	まず、「カーボンフットプリント」という言葉の認知度を高める必要があると思います
④推進すべき	「見える化」は必要ですが認知から購入まで直結しにくいと思います
④推進すべき	身の周りにあるものに表示されることで認知してもらえようになると考えます。知らなかったことを知ってもらう為の機会になると思います。
④推進すべき	カーボンフットプリントの説明や何故かをただし書きにする
④推進すべき	地域住民全体にカーボンフットプリントに意味が伝わっているかどうか疑問である。表示したところで意味が伝わらないと表示した意味がない。わかりやすい言葉に変えられないか？ 子育て世代や働いている家庭で、冷凍食品は避けられないと思う。避けるというよりは上手に使う方法を提示することはできないか？
⑤積極的に推進すべき	生産者と消費者が繋がりやすくするために市内インターネット掲示板的なものや農産物直売所の在庫品目登録・確認システムがあると地元農産物を買うやすい。
⑤積極的に推進すべき	市内の畑の面積や農家の数を考えると「地産の商品が少ない」ということはなく、市民全体にその存在が伝わっていないのではないかと思います。 富岡地区には「彩の祭宴」ができましたが、ああいった施設を富岡地区ではない場所に建てることで、市全体でカーボンフットプリントを小さくしていくことができるのではないのでしょうか。 また、市が結婚祝いに配っている野菜引換券のようなものを他のお祝いにも配ったり(長寿など?)、市が管理する野菜の無人販売所を市内に複数設置するなど、地産地消の経路を市が手助けするだけでも大きな効果があると思います。 過去のダイオキシンのこともあり市が野菜の売り出しに躊躇しているのかもしれませんが、もうそろそろ大丈夫ではないのでしょうか。
⑤積極的に推進すべき	消費者には選択肢のひとつとして情報開示すべき。既に海外でも進んでいる例がある。
⑤積極的に推進すべき	最近テレビでも昼夜問わず流れてるので、定着させちゃうなら今だと思う。
⑤積極的に推進すべき	視覚情報に勝る情報はない。カロリー表記と似たように表示していくとよい。
⑤積極的に推進すべき	CO2の見える化は多くの方が理解しやすいと思います。
⑤積極的に推進すべき	カーボンフットプリントと言われて、どれだけの人が共感してくれるかが課題。わかりやすく表現するのと、小売企業の協力が必要。

⑤積極的に推進すべき	商品選択のときに、カロリーや原材料をチェックするように、カーボンフットプリントが当たり前になるような社会になるといい
⑤積極的に推進すべき	「カーボンフットプリント」という概念すら無い人も多いので、これをどんどん分りやすく広げないとね。
⑤積極的に推進すべき	小売事業者のバリューチェーン全体に及ぶ大きな取り組みながら、案外と「棚割り」や「POP 広告」といった現場での小さな工夫が消費者にとって分かりやすく、売上面にも好影響を与えると思う。

#### 施策4. ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する

日常生活でカーボンフットプリントが小さい商品の購買を促進するため、そうした商品にポイント付与するシステムを導入する。行政は事業者がカーボンフットプリントの小さい商品を優先できるよう助成し、CO2の削減と事業者による利益追求の両立を促進する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	日常生活の購買行動におけるポイント付与については、既存のポイントサービスを活用する方がよい。また、ポイント付与の原資は増加する売上高が与えられる仕組みでないと継続性が担保できないため、ポイント及びシステム構築の費用負担は悪手にみえる。まずは、大企業がカーボンフットプリントと消費者へのポイント付与を紐づける仕組みを構築し、ロールモデルとなつて欲しい。
③どちらでもよい	ポイント及びシステム構築については、パン屋のようなスタンプカード方式か、DAISOのようなシールを集める方式にすれば、デジタルと比べて費用を抑えられるのではないのでしょうか。 ところんの万歩計のようなシステムもかわいらしく楽しいですが、より多くの方が小さく気軽に始められる取り組みとして、多くの人に馴染んだ方法を取ってほしいです。
③どちらでもよい	ポイント制にするとしたら、自分がよく利用するポイントに変換できないと魅力がない。
④推進すべき	最初は助成する必要があるかもしれないが、助成に依存しないよう期限をつけるべき。
④推進すべき	万人に受けるとは思えないし、自分も興味はないが、一定数こういったものに反応する層がいることを理解する。
④推進すべき	今結構お店でもゼロ・カーボン目指してるみたいな商品はちよくちよくあるので、その商品自体にプラスポイントとして店のポイントとして付与できるように店に補償すれば可能かなとも思う。
④推進すべき	ポイントは管理が煩雑になる可能性があり有効性に欠けるかも。
④推進すべき	意識付けになりますが、費用面の課題解決が難しそうに思います。
④推進すべき	海外からの輸入品を買う事で日本国内の温室効果ガスは減らせると思うが世界的に見たら本末転倒である。
④推進すべき	そのポイントを何に使うのか、はっきり明記する必要がある
⑤積極的に推進すべき	もう少しコストを下げる
⑤積極的に推進すべき	カーボンフットプリントの基準を定め、基準より低い商品の販売に成功している小売店に減税や補助金の措置を行う。市民ひとりひとりの協力も大切ですが、集団としての商品選択に影響を与えるには制度の変化が不可欠だと思います。
⑤積極的に推進すべき	利用促進に当たっては制度を如何に簡略化させるかも必要と考える。
⑤積極的に推進すべき	近場スーパーが、ポイント付与すると便利。また、参加する小売企業のメリットがあれば、より多くの企業が参加されるのでは。

⑤積極的に推進すべき	ゼロカーボン推進の行動を起こすことになるのでポイント付与で知らず知らずのうちに購買している動きがゼロカーボン推進への行動に繋がると考えます。
⑤積極的に推進すべき	カーボンフットプリントがいずれ必要なくなる時代がくるまで負担体力のある企業は商品化するでしょう。そのためには「必要性」をリードする行政のアピールがなければね
⑤積極的に推進すべき	行政が費用負担を判断すればすぐにでも可能。地域（通貨）ポイントにもなればより広がりが望めると考える
⑥わからない	有効ではあるが、財源の問題は難しいと思う
⑥わからない	社会全体で、カーボンフットプリントについての認知度が低い



## 施策5. 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する

カーボンフットプリントの小さな商品を多く取り扱っている店、CO<sub>2</sub>削減に努めている会社などに、「所沢ゼロカーボン認証（仮）」を付与し、ゼロカーボンへの取組を促進するとともに、店舗に認証マークなどを掲示し、市民にもゼロカーボンに資する買い物ができるお店等をアピールする。同時に、市民は認証店を積極的に活用する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	現状、「認証があるから行こう」とは思えない
③どちらでもよい	買い物時に認証店かどうかわざわざ気にすることは少ないと思う。
④推進すべき	所沢市を訪れた他の市の人にも認知してもらえるため魅力的な案だと思います。 すぐに数値的な結果が出るアイデアではなさそうですが、「エコな街」という印象が広まることで将来的に所沢市への引っ越しを考える人が増えるといいと思います。
④推進すべき	面白いし商店街とかあったら盛り上がりそう。
④推進すべき	認証制度は十分に取組める準備が整ってからでいいだろう。
④推進すべき	（買い物したくなるような）魅力のある店であることも必要。その辺のアピールも考える
④推進すべき	建設業者などは特に入札資格の加点項目とするのが良いかも。
④推進すべき	小売店舗や市民が認証ラベルにメリットを共感できるか鍵ではないかと思えます。
④推進すべき	認証マークだけではなくそのお店で購入したらポイントを付けるなど購買意欲を満たせる施策が必要
④推進すべき	本当に可能なら、是非やって欲しい。
④推進すべき	CO <sub>2</sub> 削減の意識が市民にも広がっていった時に効果を発揮する取り組みだと思いました。認証マーク掲示を見て興味を持ってもらう、知ってもらう導入になるとも思いました。
⑤積極的に推進すべき	所沢はゼロカーボンシティを目指す街なので、アピールポイントともなり良いと思う
⑤積極的に推進すべき	認証マークは、わかりやすいが、価格の点で購買につながるか難しい
⑤積極的に推進すべき	認知度が低い
⑤積極的に推進すべき	費用も軽微で進めることが可能
⑥わからない	こういったことに対応できるのはキャッシュが豊富な大規模事業者が多く、中小事業者が取り残されないかの懸念。

## テーマ1 『商品選択から考えるゼロカーボン』の施策の優先度

選択	自由意見
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	市民が1番身近にゼロカーボンを考えることができると思ったため。
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	洗剤やシャンプー、リンスなどは生活必需品だと思うので、量り売りにすると容器削減に繋がると思います。
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	取り組みやすいものからやることで市民の意識も変わる
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	全国的に見て1.が最も広まっていると考えたから。
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	効果が市民の目に見えるため、他への波及効果も高そう
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	自宅に出るプラスチックゴミの多さを日々実感しているため。(卵のパックなど勿体ないと思いながら処分している。)
1. 容器包装および使い捨てプラスチックの削減を促進する	ごみを減らすことで回収車の運転時間と焼却を減らせ結果的に温室効果ガス削減に繋がる
2. リユースやリサイクルを促進する	業者や企業に対して努力を促す施策は、淘汰される社会を容認してしまう。自然な流れでゼロカーボンを目指す事ができなければ、仕事を失う人達を大量に生み出す危険がある。
2. リユースやリサイクルを促進する	プラスチック製品を使わずに生活することは不可能だと思う。その中で少しでも環境への負担を減らせるリサイクル・リユースは有効ではないかと思った。
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	無いものを作って用意したり、あるものを無くしていくよりも、「あるものを活用する」(流れを変える)ことのほうが優先度が高いと考えたからです。 1...あるものを無くす 2...あるものを活用する 3...あるものを活用する 4...無いものを用意する 5...無いものを用意する
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	初期費用として始める前にエコ商品の原価に投資して、安めに提供させ馴染ませてから、普通の値段にしたら良いと思う。コンビニでも高くなっても結局買っているし、刷り込みは大事。

3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	まずは今あるものをより活かしていくことを優先するべきだと思う。新しいものを作るのはその後で良いかと思う。
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	説明することで感心が高まる
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	選択肢を2つ並べた時に選択の結果が数値化されるのが良い。他は効果が不透明。
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	カーボンフットプリントの浸透からゼロカーボンの意識に繋げ他の項目へ波及を期待。
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	課題は多いが、より多くの商品が近場のスーパーで選択できるようになればいいかと思います。
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	他の施策より問題点が少ない。啓蒙活動効果が先行すると思うが、事業者と消費者にとって当たり前の行動になれば、大きな削減効果につながると思われる。
3. カーボンフットプリントを踏まえた商品選択を促進する	カーボンフットプリントの知名度をもっとあげるためにはこれが一番良いと思う。ただ高いと手に取ることは今の世の中ないので！もう少し値段調節が必要
4. ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する	生活とそのために利用する店舗が一体となる取り組みに意味を持たせる必要があるのではないのでしょうか。
4. ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する	CO2 の見える化を意識してもらうためには、動機づけにより関心をもってもらう必要があると思う。
4. ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する	単に輸送コストを抑えられるだけでなく、日本全体の交通渋滞の緩和などにも寄与できる点で、カーボンフットプリントの概念を踏まえた商品販売・購入は重要だと思います
4. ゼロカーボン促進のために経済的インセンティブ（動機付け）を強化する	CO2 削減の事を知る→意識する（理解する）→行動に移すのが理想と思いますが、行動する→知る→意識する。とにかく行動する。市民の一人でも多くの人が行動起こせることが大切だと考えたからです。（不便さを感じず、すごく努力を必要とせず行動できる）
5. 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する	日常生活のなかで認証ラベルのお店を沢山目にするようになれば、老若男女問わずゼロカーボンに対する意識が変わると思うから。
5. 所沢ゼロカーボン認証（仮）を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する	認証ラベルはわかりやすく、誰にでも取り組める

5. 所沢ゼロカーボン認証(仮)を導入し積極的な店舗に認証ラベルを付与する	認証マークで市民の意識向上につながり、一定の支持が得られればポイント付与システムにも拡大できるのではないか
---------------------------------------	---

## テーマ2『食・農から考えるゼロカーボン』

### 施策6. 農産物の地産地消及び旬産旬消を促進する

地産地消及び旬産旬消により CO2 排出量を軽減できることを理解し、地元の旬な農産品を購入するよう努める。また、直売所を増やし、地元の野菜に触れる機会を増やすとともに、学校給食に地元野菜を取り入れ、周知啓発に努める。

選択	自由意見
④推進すべき	農産品を増やせる見込みがあれば良いと思います
④推進すべき	今度グランエミオでやるやつも楽しみにしていますし、グランエミオ三階の地産地消の食べ放題のどこめっちゃ美味しかったです。お弁当も。
④推進すべき	なかなか、農家と小売店舗との連携が恒久的に出来るか。また、農家の生産性が年間で安定した供給出来るか。
④推進すべき	物流や保管に関わる CO2 を削減できるし、給食の食材に使うことで子供と親との会話から学べる機会になる
④推進すべき	道の駅のようなものを目指せばいいのでは
⑤積極的に推進すべき	直売所はありがたいものの遠いため、増えると嬉しい
⑤積極的に推進すべき	マルシェなど、街の活性化にもつながる。ゼロカーボンの取り組みの中でも前向きでオシャレ。後ろ向きな施策が多い中、オシャレなことは非常に重要。
⑤積極的に推進すべき	所沢の子どもたちにも周知ができて良いと思う。
⑤積極的に推進すべき	どこで行われてるかわからない。人が集まる航空公園などでやれば良いと思う。
⑤積極的に推進すべき	駅に野菜スタンドを設置して会社帰りに買えるようにしてほしい。
⑤積極的に推進すべき	所沢市農産物直売所ガイドマップを駅等の人が集まる場所にもおいて知ってもらうことも大切でしょう。
⑤積極的に推進すべき	学校給食などの大口買取について、農家からの直接購入を市が補助することは、地産地消問題だけでなく農家の後継者問題にも良い影響を及ぼすのではないのでしょうか(農家になろうと考える若年層にとって、市が取引先になってくれる地域は魅力的だと思います)。また市内の各所に市営のマルシェなどがあると市民の生活が直接豊かになるのでうれしいです。特に駅から離れたエリアやバス通りが少ない地域など、車が無くても食材が手に入るようになると、老人や学生などが所沢に住みたくなると思います。
⑤積極的に推進すべき	地産地消は理にかなった方法。農地開発や農産物開発は新たな雇用や業種を生み出す。また、農地からの二酸化炭素吸収も見込まれる。
⑤積極的に推進すべき	学校給食に取り入れる事により、食育とゼロカーボンの両方が子供の時から取り組める
⑤積極的に推進すべき	学校給食、他公共施設などで積極的活用、スーパーで地元作物と仕入れ作物では値段に差があるので運送費がかからない分同じか安く販売してほしいふるさと納税の返礼品として使用することも考える

⑤積極的に推進すべき	「安定供給」という問題があるけど、大量に消費していける学校給食やレストラン、道の駅、ふるさと納税返礼品など、消費分野の（開拓で）消費流通の構造をつくりだせたらよいか
⑤積極的に推進すべき	スーパーで特設コーナーを取り組んでいる店舗が増えてきたように思う。消費者にそのことの意味が伝わるような形で販売するとより効果が上がるのではないかと、思う。
⑤積極的に推進すべき	直売所はスーパーの駐車場などで適宜実施するのがいいと思います。また、東北地方のコンビニには、コンビニの商品と並んで地元の野菜が販売されている店舗もあったので、そのような柔軟さを小売店に要請していくのも一つの手段かと思います。
⑤積極的に推進すべき	どこで、誰が、何を作っているのかが分かるとより買いやすい。
⑤積極的に推進すべき	旬で新鮮な農産品。誰が作ったのか顔も見れたら安心で、輸送で出るCO2も削減
⑤積極的に推進すべき	努力・工夫している農家が報われる仕組みづくりが肝要だが、消費者目線による選別が行われないと継続性が担保されないと考える。

## 施策7. 食品ロスを減らす

食品ロスに関する環境問題について理解し、食料品を購入する際には、すぐに食べるのであれば期限が迫ったものを選択する。また、過剰に購入してしまった食料品は地域で分配する。

選択	自由意見
③どちらでもよい	主旨は理解するが、推進できるイメージがわからない。やる人はやってる。やらない人はやらない類。
③どちらでもよい	これは販売元の利益にもかかわる問題なので、市が介入するのは難しいかもしれないと思いました。 市が一旦買い取って再販売するという形であれば現実的だと思います。(東ハトの商品の扱いなどを見る限り、メーカーの商品は難しいかもしれませんが……)。 東久留米には食品のアウトレットストアがありました。賞味期限の近い食品を販売しています。そういった店舗の所沢市内での出店を市が応援する、というのいいと思います。
④推進すべき	期限が迫ってる物を買って結果的に捨てることになったら意味がない。
④推進すべき	店舗の努力による。「てまえどり」に協力できるような上手な売り方の工夫も必要かな。
④推進すべき	飲食店での食品ロス削減策は効果が大きいと思う。
④推進すべき	規格外として商品に出して欲しい。食品ロスをゼロになる努力は必要
④推進すべき	コンビニやスーパーですでに実施している
⑤積極的に推進すべき	「てまえどり」は現状でも簡単に実践できると思う
⑤積極的に推進すべき	すぐ食べるものは「てまえどり」で十分
⑤積極的に推進すべき	すぐに、今からでも取組めると思います
⑤積極的に推進すべき	子ども食堂にも持って行ったら良いと思う
⑤積極的に推進すべき	消費者の意識が変わらないと事業者がどのような取り組みをしても限界があると思う。
⑤積極的に推進すべき	供給側としては、てまえどりした場合のメリットを需給側に提供することも検討が必要。
⑤積極的に推進すべき	家族がコンビニで働いているのですが、毎日凄い量の廃棄が出て持って帰ってきてるけど食べられずそのまま捨ててしまっていたのですが賞味期限が切れてしまっているのを再利用にも衛生的には厳しいからどうしようかなあと考えています。 規格外野菜は困っていると、JA 納入分以外にももう少し稼ぎたい農家さんと企業とかお店とか地域のスーパーとかのお見合い企画とかすれば新しい活用法が生まれるかも
⑤積極的に推進すべき	各個人で出来るので、いい取り組みと思います。
⑤積極的に推進すべき	誰にでも取り組める
⑤積極的に推進すべき	コンビニでの手前どり施策を目の当たりにした。一時的なものか現在は目にしないので継続が重要

⑤積極的に推進すべき	レストランに行くと分るけどまあ日本人の食べ方が一番キタナイ。マレーシア、中国、フランス、インド、外国人の食べたお皿はキレイだ。
⑤積極的に推進すべき	食料品の分配は衛生的に安心して行える仕組みが必要だと考えます。
⑤積極的に推進すべき	消費期限の基準をもう少し緩く（長く）してほしいです。個人的に、コンビニのおにぎりや菓子パンにかなり助けられているのですが、期限を少し過ぎただけで破棄される商品が非常に勿体なく感じます。
⑤積極的に推進すべき	施策の進め方は、どこで発生している食品ロスに焦点をあてるかによる。塵も積もれば的なる施策で家庭に重点を置くより、まずは1件当たりの食品ロスが大きい事業者側に働きかける方が成果につながりやすいように思える。
⑤積極的に推進すべき	利用者ひとりひとりが自発的に行動に移すこと可能で、広報・啓発コストもそれほどかからない



## 施策8. ごみの堆肥化と活用

家庭から出る生ごみや落ち葉を使って堆肥を作り、市内での農産品づくりや公園の緑化などに活用する。また、落ち葉を使った堆肥の利用を進める。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	家庭から出た生ごみだと、どんなものが含まれているか精査できないため、危険だと思います。(例えば洗剤が染み込んでいたら……など)。その肥料を使って育てた野菜に、あるいはその肥料で緑化した空間に誰が責任を持つのかということを考えると、相当なコストを割いて本気で取り組まなければならない一大プロジェクトだと思います。そこまでの規模で行うよりも、もっと所沢市の長所を活かしたプランがあるはずだと思います。
①全く推進すべきでない	生産者にあまり手間をかけさせたくはない
②あまり推進すべきでない	取り組むにはハードルが高い
③どちらでもよい	公園にあつたら入れるかもしれないけど、生ゴミを持ち歩くのは厳しい…！！
③どちらでもよい	施策を進めるに当たってのコスト、メリットの可視化が困難。
③どちらでもよい	家庭からの生ごみを収集するのは現実的ではない。食品業者から収集することから考えてみては。
④推進すべき	一般家庭では落ち葉を堆肥にするためのスペースはない。燃やせるごみに出してあるのをよく見る。ゴミ収集に落ち葉の日を設けて堆肥作り業者に依頼することはできないか？
④推進すべき	ルートづくり。堆肥を販売して生産者に還元する
④推進すべき	売電買電が出来るように、売買堆肥ができれば双方にメリットがある。
④推進すべき	コンポストを置く場所と臭いと持っていく手間、出来た堆肥の回収と活用をどうするか考える
④推進すべき	堆肥作りに参加する家庭を意識が相当高い層に絞ることが必要。テクノロジー活用により厳格なゴミの分別を必要としないなら、積極的に推進しても問題ない。
⑤積極的に推進すべき	堆肥活用の技術やアイデアを交換しやすい環境だと広がりやすいと思う。
⑤積極的に推進すべき	農家に協力してもらい落ち葉置き場を作る。
⑤積極的に推進すべき	畜・農⇔里山・公園⇔肥⇔畜・農 (3つの項目が三角形になるような図形を書かれていました・入力三河)
⑤積極的に推進すべき	生産者と体験者(ボランティア)との協力が必要
⑤積極的に推進すべき	落ち葉堆肥の配布や市販より安く販売とかあればいい。
⑤積極的に推進すべき	リン枯渇の問題もあり、堆肥を少しでも利用できる環境の整備はこの先必ず役に立つと思います。
⑥わからない	市民が関われる要素が少なそう。人知れず行われて、市民の関心も集まらず終わりそう。

## 施策 9. 食と農への理解を深める取組を促進する

農業体験イベントや収穫ボランティア体験などの機会を通して農業を学ぶことにより、地産地消や、食べ物を大切にすることを意識の醸成による食ロスの削減を促進する。また、有機農法の効果を理解する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	有機農法の効果について疑いを持っている
③どちらでもよい	ゼロカーボンにどのようにつながるのか、理解するのが難しい
③どちらでもよい	意欲的でない市民にも情報発信しなければならないので、一般市民対象のイベントは効果が限定的だと思います。企業向けの説明会などを所沢市がオンラインで配信したりして、フィードバックを得られるようにするのが良いと思います。
④推進すべき	子供には必要だと思う。子供の頃、私の通っていた長野県の学校ではもち米を植え育て餅つき大会はとても楽しくいい年した今でも覚えているので、体験からの知識は未来につながると思う。
④推進すべき	川崎市がうまく進めている。広報などでいるも開催している。小旅行なども企画して市民をひきつけている。
④推進すべき	小学校や中学の授業で取り入れて欲しい。
④推進すべき	未成年の方には特に農業体験は貴重だと思います。旬野菜を知る。おいしさを知る。土地をさわる。残さず食べる。
⑤積極的に推進すべき	特にコロナ禍にあって、人と人との繋がりや社会の横糸というものが見えづらくなっている昨今、意義のある行いになると思います。 自分の食べているものがどうやって食卓へ辿り着くのか、自分の住む市にどれだけの野菜が育っているのか、ここ 3 何ほど人々の実感が薄れているのではないのでしょうか。
⑤積極的に推進すべき	これからの世代を生きる子どもたちにこそ農業体験が必要であると思う。自分たちが食べているものがどのようにして作られているかを体験として知ることの意味は大きいと思う、所沢市で学校教育の中に組み込むことも視野に入れて取り組んでほしい。ゼロカーボンを推進する取り組みには大事なことだと考える。
⑤積極的に推進すべき	市内の複数箇所で何回かイベントを開いて参加しやすくする必要があると思う。
⑤積極的に推進すべき	子どもたちの体験活動になり、有効であると感じる
⑤積極的に推進すべき	子どもへの食育にもつながる。イベント化によって前向きな取り組みでイメージが良い。街と自然が融合した所沢の良さが出そう。
⑤積極的に推進すべき	やはり意識醸成が急がば回れで一番の近道となる。ボランティア機会を増やす。
⑤積極的に推進すべき	「農業体験」というとすぐサツマイモを植えましよう風になるけれど、土をだがやしたり、剪定したり、もっともっと面白い世界があるのだ。
⑤積極的に推進すべき	相続で土地を売らざるを得ない人達に対して、農地として市に貸し出しをする事で減免措置などが取れたら画期的。

⑤積極的に推進すべき	学校の授業でもっと取り入れると良い。
⑤積極的に推進すべき	イベントの告知や、農地のレンタルなど、学生に手伝ってもらってインターネットで募集すれば良いと思う
⑤積極的に推進すべき	学校や市民参加型のイベント開催してみるのも楽しそうですね。狭山茶の産地ですが、製法など体験したことがないので。
⑤積極的に推進すべき	農家も消費者（家庭、子供、教育現場）も義務感で取り組むのでは成果は期待できない。当然ながら、まずは事業者である農家がこうした取り組みの必要性を理解し、主体性をもって積極的に取り組むことが重要となる。

## テーマ2 『食・農から考えるゼロカーボン』の施策の優先度

選択	自由意見
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	市内にこれだけ農地が広がっているのに、ぜひ市に頑張ってもらいたいと思います。また「所沢の〇〇」という形で野菜をブランド化するなど、味や品質面での美点も発信し、地元の野菜を買いたくなる仕掛け作りもしてもらいたいです。
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	地産地消に取り組むことが他のきっかけになるという可能性もあるため。
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	所沢の子どもたちの理解が最も必要だと考えるから。
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	オシャレ化、前向き化が重要。
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	十分に食事ができない環境下にある方々を救済する事を優先してからでないと、食品ロスに取り組むことはできない。
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	環境問題への取り組みであると同時に、市の名産品などでのアピールになると思う。
6. 農産品の地産地消及び旬産旬消を促進する	地元野菜が豊富に販売されることで、多くのCO2削減になると思ったからです。購入者も新鮮なものであれば規格外のものでも購入するし食品ロスにも繋がると考えたからです。
7. 食品ロスを減らす	誰でもできることであるため、ひとりひとりのぶん母数が増えると効果も期待できそう
7. 食品ロスを減らす	この中では取り組むハードルが1番低いと感じたため
7. 食品ロスを減らす	1番身近ですぐに取り組める問題だと思ったから。
7. 食品ロスを減らす	最も効果が上がりそう。具体的にどうやって進めるかの検討がさらに必要かと思います
7. 食品ロスを減らす	規格外野菜の利用が広がると消費者の意識が高まり、食ロス減少や堆肥化への流れにつながっていく
7. 食品ロスを減らす	懸念に感じられる課題がなく、多角的に見ても負担が少ない
7. 食品ロスを減らす	食品ロスを減らすことでごみを減らすことが出来る
7. 食品ロスを減らす	期待できるCO2削減効果が大きく、飴と鞭の両面からの施策が可能であるため。
7. 食品ロスを減らす	一番身近で出来ることだから
8. ごみの堆肥化と活用	この中で8番が1番実現に近いと思ったからです。
8. ごみの堆肥化と活用	どのようなシステムになるのか分かりませんが、ゴミのリサイクルが可能ならば実現して欲しいと思いました。
8. ごみの堆肥化と活用	Win Winの関係を構築すべき
8. ごみの堆肥化と活用	どれも、身近な話題でいい取り組みです。ゴミの再利用が出来ればいいと思います。

<p>9. 食と農への理解を深める取組を促進する</p>	<p>9. の設問にも記述しましたが、何かに取り組むには理解が必要だと思います。ただ、言われたことをするだけでは長続きしない。理解していれば地道に努力できるし、日常的に苦も無く、普通の生活に活かせると思う。</p>
<p>9. 食と農への理解を深める取組を促進する</p>	<p>現在、農業に携わっているため。酷暑であった今年も水を浴びながら畑で作業している人たちがいて、その作物が食卓にならんでいることを一人でも多くの人に伝えたり、体験したりしてもらえたらと思う。</p>
<p>9. 食と農への理解を深める取組を促進する</p>	<p>市民の意識が変われば行動が変わる。広く周知できる活動を優先し行うべき。</p>

### テーマ3『エネルギーから考えるゼロカーボン』

#### 施策10. 家庭向け太陽光発電を促進する

自宅や集合住宅に積極的に太陽光発電設備を導入する。太陽光パネル等の創エネ機器や蓄電池の設置を拡大させるため、市は、経済的支援制度の充実や行政が推奨する業者の紹介、製品開発を促進させる。また、自治会やマンションでの設置の成功事例を発信する。

選考	自由意見
②あまり推進すべきでない	太陽光はまだ課題が多く1番優先するべきとは考えにくい
③どちらでもよい	住むエリアや世帯の経済状況によって、設置の判断は変わってくると思います。 なので市には「設置の推進」というよりも「設置という選択肢の啓蒙」に注力してほしいです。 設置数が増えたかどうかよりも「設置をできる/したい人」の暗数を減らしていくという方針で進めていってもらったほうが、誠実だと感じます。
③どちらでもよい	リチウム電池の問題や屋根の耐久性が解決したらやりたいけど、私が今できるとしたらせいぜい外でのスマホ充電を太陽光のやつで充電するくらいしかできない。
③どちらでもよい	一戸建てだと個人の考えに依存する所が大きい。集合住宅ならばアリかも。
③どちらでもよい	太陽光の業者をきちんと選ばないとトラブルが多い。知り合いで付けないほうが良かったという人が数人いる。
③どちらでもよい	太陽光パネルを設置することは良い事だが節電を進めた方が良いと思う
④推進すべき	自治体が初期費用の負担をしても維持管理に持続的に費用が発生するため、マンションでの合意は容易でないと思う。
④推進すべき	制度を充実させるときはシンプルであればあるほどわかりやすくありがたい。
④推進すべき	マンションではソーラーは無理では
④推進すべき	太陽光をあまり信用していないので市がお墨付きをくれるなら安心。
④推進すべき	太陽光設備の耐久性や部品調達年数が課題。会社でも自然エネルギーを活用しようとしたが、耐久性に課題があり撤廃した。
⑤積極的に推進すべき	費用を考えると難しいと思います。
⑤積極的に推進すべき	資金面は個人により差がある。新築では必須とすることも必要か。
⑤積極的に推進すべき	生活スタイルを変えていくには、地域全体の取り組みが大切
⑤積極的に推進すべき	太陽光パネル業者には悪質なものをあるため、市の手動による対策が必要と考える。
⑤積極的に推進すべき	ただし、行政による補助金制度が家庭における当該設備の価格競争（適正価格への収斂）を妨げている可能性に留意する必要がある。行政が期待しているのは「補助金による導入促進→当該設備の量的拡大による価格低下効果→さらなる普及拡大」だと思うが、本当にその循環が実現しているのか？きちんとした検証が必要である。行政が推奨業者を紹介するのであればなおさらである。

⑤積極的に推進すべき	前家屋に太陽光パネルがつけられたら本当に理想です。
⑥わからない	すでにあるソーラーやら風力（発電模型でも）を中心にかつで 1970～80 年代のソフトエネルギーパス（時代の） 発送を取り込んだエネルギー（といっても電力が中心になるうが）を作ろう「アイデア大賞」イベントを年 1 回くらい開催してもらいたいな

## 施策 11. 地域における再エネ設備の設置を促進する

市域内の公共施設や空き地、商業施設を活用し、太陽光パネルや小型風力発電等の創エネ機器設置を実施する。また、利用者の比較的多い施設・遊び場を中心に太陽光パネルを設置し、身近で再エネに触れる機会を増加させる。再エネを拡大させる手段として、事業者への設置を義務化する。

選択	自由意見
②あまり推進すべきでない	必要以上に再エネ施設が増えたり、生活環境が変わったりする恐れがあるので慎重に事を進めるべき。
④推進すべき	西武グループなど付き合いのある民間企業と上手く話がまとまれば、ぜひ大口設置してほしいと思います。市全体がエコな街という印象になっていくとうれしいです。
④推進すべき	推進すべきではあるけど、これは説明会とか会社に赴いて説明しないとイケなそう。個人や会社でSDGSを何しようかと考えてる人に対して、商工会議所とかで斡旋できたらいいですね。回収率とかの資料とかあったら、確定申告の待ち時間に読んで欲しくなりそう。
④推進すべき	推進となると難しい事業者も出てくるとは思うが、義務ならばやらざるを得ない、となるのか、？ 基準や補助など決めることは沢山あると思うが時間をかけてでもやるべきかもしれない。
④推進すべき	義務となると難しいし、誘致が難しくなるのでは
④推進すべき	これに反対する人はいるのだろうか？
④推進すべき	ぜひ推し進めるべきであるが、特にコストがかかる項目であり、優先順位をよく検討すべき
④推進すべき	商業施設と連携すれば、企業側の方でSDGsに絡めてうまく宣伝してくれると思うので、市民に対して良いアピールになるのではと思う。
④推進すべき	事業者の取り組み事例の紹介。また、取り組んだ事業者のメリットがあればいいと思います。
④推進すべき	大規模マンション、大型商業施設、遊興施設、公共施設が積極的まずやっていただきたい
⑤積極的に推進すべき	どこかに地域での取り組みの話聞いたが、持ち主はいるが空き家になっている家での太陽光パネルで取り組んで成功している事例があるという。私には可能かどうか分からないが検討課題にしてください。
⑤積極的に推進すべき	他にないような新しい機器を積極的に検討して、自慢できるような設備にすると面白いと思う。
⑤積極的に推進すべき	家庭向けよりは拡大が期待できると思います
⑤積極的に推進すべき	もう、そういう時代の流れになるでしょう
⑤積極的に推進すべき	市としての取り組みをアピールする良い施策となる
⑤積極的に推進すべき	市の施設から始め、所沢市内で影響力のある企業にも参加・協力してもらおう
⑤積極的に推進すべき	今後商業施設などには、太陽光パネルの設置義務化と補助金の検討をするべき



⑤積極的に推進すべき	例えば森林であっても、極相に達したスギ林など炭素吸収能力が低く逆に花粉被害によるデメリットの方が大きいような土地も存在するので、学校などの公共施設の屋上の太陽光パネルや貯水池の発電フローターなどと並んで広い領域で開発の検討が必要だと思います。ただ、森林を切り開く場合は土砂災害のリスクが増加することがあるほか、発電設備そのもののメンテナンス・耐用年数なども考慮する必要があるため、難しい課題になると思います。
⑤積極的に推進すべき	環境問題を意識させる機会を増やすことは有効だと思う
⑤積極的に推進すべき	当該施設設置に適した場所を悪質な事業者を抑えられないように先手を打つことも大切だと考える。
⑤積極的に推進すべき	将来的に市民電力は市が作れたら良い。土地が少ない分、建物に設置する件数が多くほど良いと考えたからです。

## 施策 12. 再生可能エネルギー比率の高い電力（再エネ電力）への切り替え促進

再エネ電力への契約切り替えを促進する。また、再エネ電力への切り替え、再エネ開発・導入に積極的な企業に対し、優遇措置を行う。

選択	自由意見
③どちらでもよい	個人の考えに依存することが大きいので、うまく広まらないのでは。
③どちらでもよい	さほど変わらないのでもっとメリットを感じられる事を教えてほしい 先日も NEWS で電力事業者破綻がやっていたので不安
④推進すべき	月々の出費が具体的にいくらになるか事前には確定しないため、契約時には「なるべく安いところで」と考えるのは自然なことだと思います。私も将来子育て世帯になったら 1 円でも安いところで契約したいと考えます。 再エネ電力の選択を最先端のライフスタイルとして売り出すことが必要だと思うので、西武グループとの提携や、市民フェスティバル等市民イベントでの発信、広告など、イメージ戦略に振って「素敵な生き方」という印象を広めてほしいです。
④推進すべき	電力自由化により促進できそうに見えますが、自由化したからこそ比較が一層難しくなるのではないかと思います。
④推進すべき	企業、住宅どちらも対象？
④推進すべき	一見良さそうに見えるが、現実問題推進できていないことからどこかに課題があるのだろうと想像する。
④推進すべき	安定供給が可能な再エネのみの発電はまだ不可能と思う。安全面、コスト面をよく考える。
④推進すべき	電力自由化のメリットがよくわからないので、踏み込めない。市民の 3 割近く入ったと PR すれば安定、安全な企業と見えそうです。
⑤積極的に推進すべき	コストが、以前から使われているエネルギー源よりも低ければ利用者も多くなる
⑤積極的に推進すべき	こちらへんは自分たち普通の人じゃ対処できないので、頑張っ欲しいなあ。
⑤積極的に推進すべき	前の義務化とどちらかでも良い気がするが、どちらかといえばこちらの方が良い
⑤積極的に推進すべき	再エネ電力の発電コストが大幅に低下した現在、本来は優遇措置を行う必要はないはず。今なお再エネ電力の提供価格が従来型電力の提供価格を上回っていることを是正するための施策を推進することが本筋と考える。
⑥わからない	コスト面で切り替えには不安がある

### 施策 13. エネルギーに関する市民活動を促進する

エネルギーに関する市民活動を促進させるため、情報発信を強化する。情報発信方法の工夫として、スマートフォン等のアプリでのプッシュ通知など、市民が手軽に情報を受け取る仕組みを取り入れる。また、行政が行う環境の取組に、高校生や大学生のボランティアが活躍できる場を作り、市民活動を実践していく人材を育成する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	実際のところプッシュ通知はそうそう見ない。
④推進すべき	所沢在住アーティストで集めたらやってくれそう。J:COMTVのみさきちゃんのお散歩番組とか好きで視聴しているので、地産地消もそうだけどやりたい人集めて説明会とかしますよーと駅とかグランエミオとかに貼っとけば集まりそう。
④推進すべき	デジタル難民が心配 お年寄りがついていけるか
④推進すべき	情報発信を増やし情報に触れる機会を設ける。市民の意識改革により行動が変わる。
④推進すべき	まずは若年層に狙いを定めてみては。スマホアプリを開発するよりは、授業で取り入れた方が周知するという意味では効果的だと思う。
④推進すべき	エネルギーの取り組みを、何をPRするのが鍵。
④推進すべき	人の力は大きく広がっていくので、インスタ、TickTokでも広がると思います。
⑤積極的に推進すべき	所沢市はベッドタウンとしての利便性が高く、個性的な地域性というものも見えづらいため、地元で育った人でない限り所沢への愛着は形成されづらいのではないかと思います。 個人的には住みやすく大変気に入っていますが、より多くの人々が「自分は所沢に住んでいる」という意識を持てるような発信と、「その所沢ってどんな街？→エコな街」ということが日々の生活の中で少しずつでも分かっていくようなきっかけを、市の広報に期待します。
⑤積極的に推進すべき	インターネットが使えない方への対応
⑤積極的に推進すべき	積極的に高校生や大学生のボランティアが活躍する場の設定をするのは良いと思う。これからの時代を生きていくには自分事としてとらえる機会がたくさん必要だと思う。学校等の授業で学ぶだけでは身につかない。体験を通して実感する必要がある。
⑤積極的に推進すべき	関心がある人が手をあげて参加できる場作りは重要。今回の市民会議もその一つ。関心のある人を地道に増やしていくしかない。
⑤積極的に推進すべき	ガラクタを使っても基本的な知識さえあれば電力はつくれる。(例) 駅や学校に『「自転車」で「手回しハンドル」で発電してみよう』なんてモニュメント置いておけばいやがおうでも子どもたちは触れたがるし
⑤積極的に推進すべき	若い世代に所沢市のコミュニティとの関わりがあるのか、課題である
⑤積極的に推進すべき	広報を読んでない人が多い。

⑤積極的に推進すべき	地元高校の取り組みに感動した。全国で様々な成功体験が蓄積されていると思うので、全国の教育者や学生が相互交流する場をつくってあげて欲しい。
------------	--

#### 施策 14. (株)ところざわ未来電力の利用拡大に努める

(株)ところざわ未来電力(以下、未来電力)の利用拡大を推進するため、すでに実施している未来電力の加入メリットの強化を図る。

選択	自由意見
③どちらでもよい	個人の意見に依存するところが大きい。
④推進すべき	所沢まつりがやっぱり一番人が集まるから、ところんとか所沢電気のキャラを踊らせて人気アップしましょ！
④推進すべき	電力の安定供給や運営上の顧客対応が問題ないことをアピールするべき。
④推進すべき	未来電力について知らない人が殆どだと思うので色々なイベントで周知して欲しい
④推進すべき	市民や所沢の企業がどれだけ活用しているか、また利用することで、どれだけメリットがあるのかが、わかりやすくして欲しい。
⑤積極的に推進すべき	広報ところざわ、毎号楽しみに読んでいます。ぜひ特集してほしいです。思い切って価格シミュレーションなどを載せてもらえると、より多くの人に関心を抱くと思います。
⑤積極的に推進すべき	利用拡大には、確信を持ったメリットを広報しないと伝わらない。
⑤積極的に推進すべき	既にあるものはどんどん使うべきだと思う
⑤積極的に推進すべき	ただし、これは完全に事業者の問題。設立の主旨からいえば、絶対に取りこぼしてはいけないターゲット顧客がいて、それだけでフルキャパになっていても不思議でないように思える。株主構成をみると一般家庭や中小事業者向けで実績を持つ企業が見受けられず、少なからず影響しているのかもしれない。素晴らしい取り組みに感じられるだけに、現状の実績は残念に思える。
⑤積極的に推進すべき	是非進めて欲しい
⑥わからない	発電量には余裕があるのでしょうか？
⑥わからない	市としては積極的に取り組みたいところだが、私たちにとってのメリットが不明

### テーマ3 『エネルギーから考えるゼロカーボン』の施策の優先度

選択	自由意見
10. 家庭向け太陽光発電を促進する	各家庭に太陽光パネルを置くことができれば、発電を促進でき、且つそれを市と家庭の両方で使用することができればゼロカーボンに繋がると思ったからです。
10. 家庭向け太陽光発電を促進する	火力発電から自然エネルギーを使って電力を起こすことが大切だと思います。
10. 家庭向け太陽光発電を促進する	今よりも太陽光パネルがつけてて当たり前になっている未来が来たら良いなと思う！ 手の届く価格、
10. 家庭向け太陽光発電を促進する	悪質なソーラーパネルは逆に環境を汚染してしまうため、行政が監視しておいた方が良い
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	個々で対応するというのは難しいかもしれないが地域が連携すれば可能になるかもしれないと思う。
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	企業をうまく使えば宣伝もしてくれなので、費用対効果が高いのではと思う。
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	市民の身近で再エネ設備が増えれば訴求効果も高そう
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	ゼロカーボンだけでなく、防犯や防災、全ての安全安心な生活は、地域全体で取り組むべき
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	初期投資は発生するが効果を発信することで効果が大きいと思われる
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	公共施設での設置推進が最も効率よく大規模に再エネ利用を拡大できると思います。
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	飴を用いた施策は問題点が多いようにみえる。導入によるメリットが大きくなった今、義務化は大いに賛成できる。
11. 地域における再エネ設備の設置を促進する	市内で自然エネルギーが一番作れるのは太陽光発電だと思うからです。目にしてもらい、知ってもらい、増やしていくことが大切だと考えたからです。
12. 再生可能エネルギー比率の高い電力(再エネ電力)への切り替え促進	私達ではできないからこそ、ここの転換は頑張ってもらいたい。
12. 再生可能エネルギー比率の高い電力(再エネ電力)への切り替え促進	所沢で再エネの状況を逐次公表してほしい。
13. エネルギーに関する市民活動を促進する	「エネルギーに関する市民活動」と一口に言っても多岐に渡りますが……所沢市民の幅の広さを考えると、それに見合った様々な手段で市民活動を促進してもらいたいと考えました。一部の層が取り組みその層を支援する、というスタイルでは、市民同士の熱意に溝ができていくと思います。

13. エネルギーに関する市民活動を促進する	別の視点から。家庭生活を考えると暑さ寒さに対応するためのエネルギーが必要である。杉並の今後の取り組みとして、長い目で見て「住まいの断熱に費用をかけるのが省エネに必要な」と取り組もうとしているということも聞いた。所沢でも検討課題の一つに考えてみてください。
13. エネルギーに関する市民活動を促進する	13 を機にスマホのアプリ等普及によりデジタル難民をなくす
13. エネルギーに関する市民活動を促進する	金銭メリットだけでは根本的な解決にならない。(もちろん、とっかかりとしては効果があると思う。) 関心のある人が関心が継続されるよう、また関心の無い人が関心を持てるような取り組みが重要。
13. エネルギーに関する市民活動を促進する	所沢市はけして再生エネルギー施設を建設することに適した環境では無い。再生エネルギーを使う事よりも、どうやって二酸化炭素を吸収するかを優先して取り組む事が大切。
13. エネルギーに関する市民活動を促進する	近年、エネルギー資源の原材料調達の高騰、自然エネルギーへの転換があるが、いかに市民にわかりやすく説明するか、また共感していただけるか。メリット、デメリットがわかりやすくなれば良いと思います。
14. (株)ところざわ未来電力の利用拡大に努める	未来電力についての周知が分かっていないので、もっと認知されたほうがよい

## テーマ4『住まいから考えるゼロカーボン』

### 施策15. 機器・設備などの省エネ化を促進する

戸建住宅と集合住宅の双方でエコ住宅化を促すため、住宅のエコ診断による省エネ機器・設備導入や、中古住宅のエコリフォームを促進する。また、それらの導入効果を見える化し、経済的支援や信頼できる事業者の情報もあわせて発信を行う。同時に、太陽光発電の導入や蓄電池の導入によるエコ住宅化を進める。

選択	自由意見
③どちらでもよい	調べて申請するのが面倒。
④推進すべき	ストレートに設置を補助すると、財源が足りなくなったり特定の事業者との取引になったりと、問題が多いかとは思いますが。 「エコな暮らし」そのものへの関心を助ける、という落とし所で取り組んでほしいです。 どんな機器や設備があるのか選択肢を一覧できる冊子を作って配布したり、事業者を集めて航空公園などでイベントを開いたり、ところんコラボのモデルルームを作ったりなど、「設置までの橋渡し」に力を入れてほしいです。
④推進すべき	我が家は高騰する電気代節約のため冷蔵庫を新しくしただけで30パーぐらい節電したので、これを期にこういう住宅どうですか？？みたいなの見せるとすぐには無理だけどいつかやろうとは思う。今すぐだとという明示し、明るさを絞るとか簡単なことの成功体験をさせ、できる範囲から始めればとっつきはやすいと思う。
④推進すべき	マンションもまきこむ企画を
④推進すべき	是非やってほしいが、どうやっても営利目的になってしまう気がする。(無駄なリフォームの誘発。)
④推進すべき	費用の問題もあり時間はかかると思料。
④推進すべき	費用の面が課題
④推進すべき	エコ住宅、エコ家電ともに、初期投資が多いが、利用するエネルギーが少なくなるのが目に見えてわかれば、市民の共感は得られやすいのでは。
④推進すべき	市から助成金がいただけるのであれば取り入れたい
⑤積極的に推進すべき	テーマ3の記述の書いたが、住宅の断熱を考えることが省エネにつながる、という視点も市民に広報し、そこに初期費用の補助を出すことも考えると良いかと思う。
⑤積極的に推進すべき	設備導入は細かく買い換える必要もないため、比較的楽だと思う。
⑤積極的に推進すべき	ただし、訪問販売事業者の跋扈を助長する安易な補助金政策には断固反対の立場である。



## 施策 16. 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する

日常生活での節電などに加え、遮光カーテンの導入、植物を利用した緑のカーテン、ソーラークッキングなどを積極的に取り入れることや、早寝早起や日当たりのよい場所での読書（照明はオフ）といったライフスタイルから省エネを促進する。事業者は、エコなモデルハウスを増やしていくことで周知を図り、楽しみながら省エネができるポイント制度等を整備する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	休日の過ごし方に口を出されたくない
③どちらでもよい	省エネ方法について周知するのは良いが、ライフスタイルは人によって違うので、周知内容には配慮した方が良いと思う。
④推進すべき	実際にはこまめな照明オフが1度のドライヤー利用に負けてしまうなど、具体的な数値を可視化すると、取り組みに疑問を抱いてしまいやる気の継続が難しいと思います。 取り組み項目を9つ並べビンゴにして、揃ったものを送った人に抽選で特典を渡すなど、「最初の1歩」を後押しするような企画を実施してほしいです。様々な方法を「まず全部1回やってみる」ことで、自分の生活に合ったものが継続できると思います。
④推進すべき	諸事情でそういったライフスタイルへの転換が厳しい方も一定数いらっしゃると思うので、同調圧力にはならないようにするべきだと思います。
④推進すべき	イラスト等を使って衆知のチラシ様のもの作成
④推進すべき	やる人はやってる。やらない人をどう仕向けていくか。
④推進すべき	電力会社からスマホに1日の電気料金がライン等で送信されてくると節電を心がけるようになるかも…。そうでないとなかなかマメにコンセントを抜いたりしないので。1日の節電目標をクリアしたらポイントが貰えたらさらにやる気が出ます。
④推進すべき	費用を抑えながら快適に生活する工夫を紹介する施策だけに、予算を抑えた工夫を前面に出して欲しい。
⑤積極的に推進すべき	市民全体に、家族ぐるみで考えられる取り組みが必要。一人ひとりが理解して、納得するには地道な努力がいると思う。簡単なようで、意外と難しい問題だと思う。
⑤積極的に推進すべき	自分たちにできる範囲ではある！ あの資料にあった木材の家羨ましいです！ でもやっぱりおうち系はいくらかかるとかあんまり明示されないので、所沢が目指すモデルハウス住宅街あったら住みたいです。 長期的に見て頂ければと思う。
⑤積極的に推進すべき	楽しみながらできるというのが一番。
⑤積極的に推進すべき	小さな事から誰でも取り組める。それが、ゼロカーボンにつながることを実感できる。
⑤積極的に推進すべき	せっかく市役所でゴーヤの種を配っても育て方がわからない。

⑤積極的に推進すべき	小さいことだが個人でできることを通じ、達成感と自分ごと化による取り組みの継続が見込まれる
⑤積極的に推進すべき	日常生活で、出来るところからの取り組みなので、誰でも出来ることを市民が共感できれば。

## 施策 17. まちに緑を増やす

屋上緑化や壁面緑化、アスファルトから土や芝生の道路に変更することで、ヒートアイランド対策を進め、省エネに繋げる。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	アスファルトの芝生化は不便なのでやらない方がいい
②あまり推進すべきでない	整備やメンテナンスの頻度、バリアフリーのことを考えると懸念残る
④推進すべき	所沢には緑が少ない。市全体を緑でおおう
④推進すべき	ランニングコストがどの程度かが検討課題。
④推進すべき	所沢駅など市民の目に入りやすいところでまずは対策してみては。
④推進すべき	大規模マンション、商業施設を造る際には緑化の義務を行う
④推進すべき	まちに緑を増やすことは大賛成、通常予算のなかで意識して取り組んで欲しい。
④推進すべき	アスファルトを土や芝生だと手入れや不便さも出てしまうと思いますが、アスファルトでも熱くならない材質など。便利さを保持しつつ改善方法があると考えます。熱くならない壁とか屋根があると聞いたことがあります。
⑤積極的に推進すべき	課題に「車いす等未舗装道路を利用しづらい方への配慮」とありますが、逆にそこをクリアした未舗装道路を開発できれば、市の印象は格段に上がると思います。 やるのであれば半端なものではなく、ぜひ徹底したクオリティの道路を敷いてほしいです。実現すれば住みたい人が増えると思います。
⑤積極的に推進すべき	ヨーロッパのように、車よりも歩行者が増えるように、歩きたくなるような綺麗な景観の歩道を整備
⑤積極的に推進すべき	推進会議でも紹介されたが、保育園などの園庭を芝生にする取り組みは良いと思う。 スーパーの駐車場やガソリンスタンドの周りに雑草が生えないようにゴム製のものを敷いているケースもあるが、そこも芝生に変えると良いな、と思っていた。やはり、補助金が必要かもしれません。
⑤積極的に推進すべき	大きい道路の歩道をタータンにしてくれるだけで、体作りをつくるの大好きな所沢民は外に出る。緑化とはちょっと違うけどエコ。越谷の歩道がタータンですごくいい
⑤積極的に推進すべき	鳥獣虫害対策も同時に進める必要がある。
⑤積極的に推進すべき	オシャレな街になるので賛成。お金が無いならクラファンで。お金出します。
⑤積極的に推進すべき	緑が二酸化炭素を吸収する事は誰でもわかる。最近の研究では二酸化炭素を吸収する素材ができる兆しがあり、これからの街作りに応用していく事ができるのではないかな。
⑤積極的に推進すべき	市の施策に取り入れて欲しい
⑤積極的に推進すべき	どこが管理するのかわからない

⑤積極的に推進すべき	緑を多くすることで、街が変わればいい。公的機関が、どれだけ先陣を切って取り組みが出来るか。
⑥わからない	「歩道には落葉樹」というのは昔から変わらないけど、自転車には不便な街づくりをしてもらいたい。自転車は便利だけど、それが街中では便利である必要は全くない？

#### テーマ4 『住まいから考えるゼロカーボン』の施策の優先度

選択	自由意見
15. 機器・設備などの省エネ化を促進する	効果が大きい。
15. 機器・設備などの省エネ化を促進する	費用面さえどうにかなれば効果が大きいと考えられる。
15. 機器・設備などの省エネ化を促進する	長期利用するものほど、環境への配慮が必要になると思う。
15. 機器・設備などの省エネ化を促進する	CO2削減効果が期待でき、うまく制度設計できれば良質な事業者にとってもメリットになるため。
15. 機器・設備などの省エネ化を促進する	CO2を多く削減できると考えたからです。そしてゼロカーボンの意識も高まると思います。
16. 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する	節電は最も取り組みだと思うから
16. 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する	個人でできることを通じ、達成感と自分ごと化による取り組みの継続
16. 住まい・暮らしでの省エネ型ライフスタイルを促進する	住まいのゼロカーボン化を目指すには、どうしても市民の善意に頼らざるを得ないので、市で気候変動の恐ろしさを危機感を持って発信して、環境保全に対する積極的な意識と機運を高めていく必要があると思います。
17. まちに緑を増やす	1と2の「促進」の企画は、どうしても民間企業との提携の問題で市のスタンスが問われてしまうと思うので、間接的な後押しをやってもらいたいと考えました。 「まちに緑を増やす」は直接的な街づくりの方針になり得ます。ぜひやってほしいです。
17. まちに緑を増やす	歩道がタータンに…というのは願望ですが、実際分譲地ばかりで緑も減りコンテナ倉庫か駐車場ばかりに変貌してる山口地区は道も狭くトレーニングするところもないので、街に緑を増やすって名目で住みやすくなればなあと。
17. まちに緑を増やす	ゼロカーボンを目指せるということだけではなく、市民の癒やしとなるなど他の価値もあるのではないかと感じたため
17. まちに緑を増やす	緑は大切だがゼロカーボンを推進していくには物足りない気がします。
17. まちに緑を増やす	植物を植えることで省エネと同時にCO <sub>2</sub> の削減にもつながると考えられるため。
17. まちに緑を増やす	まちが変われば人が変わるように思う。 まちを好きになればまちを大切にしようと思えるのでは、！
17. まちに緑を増やす	課題は多いですが目に見える変化が効率的だと思いました

17. まちに緑を増やす	住宅空地、作地の地図をつくり空いているところ、人が集まる場所に全体的に緑をふやす
17. まちに緑を増やす	街をオシャレに。
17. まちに緑を増やす	市が取り組んでいることとして、わかりやすく市民の目にとまるのではないかと思ったから。
17. まちに緑を増やす	無駄な照明を減らしたり、光りが空に広がらないような対応も行ってほしい（生物多様性の回復のため）
17. まちに緑を増やす	緑化が進み、二酸化炭素の減少エビデンスが取れば、モデルケースとなりうる。各地に広がっていく行きやすさという点で、緑化は最も手軽な手段だと思う。
17. まちに緑を増やす	町全体を変えることにより、ゼロカーボンにつながり、結果的に人口増加や他の課題も解決できる可能性がある
17. まちに緑を増やす	狭山丘陵、航空公園など緑が多いが、所沢駅周辺は、無秩序な開発が多く、タワーマンションが乱立していると感じる。法律で決められた緑地にプラスアルファができるように、都市に緑地を増やす努力を。

## テーマ5『移動から考えるゼロカーボン』

### 施策18. 自転車・徒歩での移動を促進する

コンビニエンスストアや公共機関等にシェアサイクルの設置箇所を増やし、シェアサイクルを利用しやすくする。また、徒歩移動を促す「埼玉県コバトン健康マイレージ」のような、市民が歩くことによりポイントを得られる制度を進めるとともに、徒歩自体が楽しくなるような、散歩コース、遊歩道を整備・周知する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	車の利便性に優らないと思う
①全く推進すべきでない	まずシェアサイクルの設置場所を増やすような施策には断固反対。やるべきことの順番が違えば問題は確実に増え、期待した成果はあがらない。
③どちらでもよい	ポイントの還元先を多彩に用意する必要がある。対応できるのか？
④推進すべき	山口地区は道も歩道も狭くチャリも人もすれ違えないので逆に危ない。イベントでも人も車も渋滞で凄いのではなんとも言えない。
④推進すべき	水辺が心安まるので水辺に作る。東川周辺をもっと活用する
④推進すべき	広報ところざわでも案内されているが、認知度が低い。推進策を別途考える必要あり。
④推進すべき	健康増進はあらゆる点でスケールメリットがある。
⑤積極的に推進すべき	市内の中心部ばかり栄えているような印象を受けます。徒歩での行き来がしやすくなれば、郊外にスモールビジネスの出店応援と銘打って開発ができるなど、活気のある企画にも繋がるのではないのでしょうか。
⑤積極的に推進すべき	シェアサイクルの情報をもっと広める
⑤積極的に推進すべき	なぜ、シェアサイクルが始まったのか知らなかった。今回の推進会議で知った。シェアサイクルの意味が浸透すれば、シェアサイクルを使う使わないに関わらず、所沢の取り組みとして市民の意識が変わるかもしれません。
⑤積極的に推進すべき	信号の変わるタイミングを見直して、危険な横断をしないで済むようにしてほしい。
⑤積極的に推進すべき	現在コバトンのアプリを使っている！ ところんのものも出たら絶対やると思う！ ポイントは地産のものだと嬉しい！
⑤積極的に推進すべき	散歩コース、遊歩道に賛成。健康増進や市外からの人の流入にも効果が見込めそう。
⑤積極的に推進すべき	「歩道」は「しっかり」とつくろう。自転車優先の道路行政で後追いとなってしまう歩道。歩道すらない幹線もある。思いきって一方通行にするくらいの覚悟で歩道を作ってもらいたい。
⑤積極的に推進すべき	自転車に乗れない人や徒歩移動が困難な人への配慮も行ってほしい
⑤積極的に推進すべき	エコと健康は、両方大事
⑤積極的に推進すべき	所沢市内は、自転車、徒歩移動で安全、安心できる道路が少ない。車社会から人社会に出来るようになればいい取り組み。

## 施策 19. バスの利用を促進する

バスの利用を促進するため、便数、ルート数、乗り場を増加し、ルート上であればどこからでもバスに乗れるようにする。また、利用者がバス停の表示板やスマートフォンでバスの位置を把握できるようにする（バスロケーションシステム）と共に、電車に乗り継ぎしやすい時刻表に設定する。さらに、車を持たない世帯や住居が駅から遠い方に、乗車料金を優遇する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	停車回数が増えると、かえって不便になってしまう
②あまり推進すべきでない	バスが流行らないのは便数が少なく、料金が低いからなのだろうか？バス利用者が自らが享受したいメリットを列挙しているだけにみえる。（バス会社へのクレームのよう。）
②あまり推進すべきでない	バスロケーションシステムやバスと電車の接続は当然のこと。その他の内容は矛盾をはらみすぎている。行政には、利用者の利便性と事業者の収益性の両面からみた落としどころをうまく見出してもらいたい。
③どちらでもよい	うちの地域でところんバス乗ると、老人の足だから若いやつが乗るなよとよく言われるため怖くて乗れない。
③どちらでもよい	使用するバスを電気自動車等の環境に配慮した車両にするとより良いのではないかと思いました。
③どちらでもよい	バスに限定する必用はない
③どちらでもよい	バス利用にメリットがあればいいと思います。すみません、所沢市内でバスに年間数回しか乗らないので、コメントが出来ません
③どちらでもよい	所沢市は、他の地方自治体と比較しても格段に交通の便に恵まれていると思います。 バス利用促進は有意義だと思いますが、これ以上のバス増便は不要です。
④推進すべき	ところバスの衆知
④推進すべき	車を持たない世帯への税金優遇があると良い
④推進すべき	お年寄りや病院に行くことが多いので病院、公共施設を中心としたバスの利便性を図る
⑤積極的に推進すべき	所沢市内に住むという生活は、西武鉄道と西武バスにかなり寄りかかっていると思います。駅までの距離やバスの本数が、そのまま生活に響きます。その格差を市が埋めてくれたら、市全体が潤い市内での移動も頻繁になることは間違いありません。
⑤積極的に推進すべき	ところバスの利用乗客の多い時間帯の本数を増やしてほしい。多くの方が使う時間帯には、譲り合っても杖をついた方が座れないこともあります。一日に5本走るとして、時間を5等分にしているコースがありますが、最終時間にはほんのわずかししか乗客がいません。利用者の調査をして考え直してほしいと思います。 最初のうちは車いすの利用も多かったが最近は見かけなくなりました。（理由はわかりませんが）



⑤積極的に推進すべき	バスの運行を開始するならその初日は無料にして皆様に利便性を実感していただいた方がその後の利用者が増えるのではないか。
⑤積極的に推進すべき	ところバスとところワゴンは自家用車、カーシェア以上に効果あり。ところワゴンも再エネ利用車としたいところ。
⑤積極的に推進すべき	車を手放した場合、便数が多ければ地域移動に活用する 是非充実させて欲しい 自家用からバスへ

## 施策 20. 自家用車を使わなくてもよいまちづくり

公共交通の拠点となる駅の周辺に、病院や行政、商業施設などを集め、歩いて用事を済ませられるまちを複数つくる。また街中での渋滞をなくし、歩行者などの安全性を高めるため、市街地には自家用車が入れないようにし、周辺に駐車場を配置する。市は計画的に用地を確保し、まちの整備にいかしていく。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	商業施設をひとまとめにするのは地元の店にとって負担が大きいと思う。
①全く推進すべきでない	西武 HD は所沢駅を 50 万人商圏のまちに育てようとしている。それを実現するためには電車利用者だけではなく自家用車利用者を積極的に取り込む必要がある。自家用車はいずれゼロカーボンになり家庭用蓄電システムの一角を担うようになる。このコンセプトのコンパクトシティは一世代前に考えられたものであり、愛する所沢市には 2050 年を睨んだ新たなコンセプトでまちづくりを進めて欲しい。
②あまり推進すべきでない	駅と自宅との距離が遠い人にはメリットが感じられないのではないのでしょうか
③どちらでもよい	費用がかかりすぎると思う。
④推進すべき	駅から遠い地域を取り残さないようにしてもらいたい。
④推進すべき	ドローンの活用も考える
④推進すべき	イタリアの車が入れないまちづくり事例は参考にしたい。
④推進すべき	所沢市は、航空公園に公的機関が集中しているので、他の自治体から比べて非常に便利である。しかし、街中に 463 号が一車線になり渋滞となり不便。コンパクトシティを目指すコンセプトが必要。
④推進すべき	未来的には理想の市内全てが沿うあるとは難しい 段階を踏む必要があると思う 私が住んでいるところが理想的な街になっています。なので、車を持たず全て自転車と公共機関のみ 散歩にも良い環境です。
⑤積極的に推進すべき	家庭を持ってマイホームを建て車を持つ、という時代ではもうないと思います。独居老人でも障碍があっても収入が低くても 1 人で暮らせる街、というのが今も今後も求められるのではないのでしょうか。駐車場代や税金といった車の維持費を抑えられたら、その分の金額を自由に使いたい、という人は少なくないと思います。実現すれば所沢に住みたい人が増えると思います。
⑤積極的に推進すべき	道路の整備など、長期的な都市計画が必要です。子どもたちの通学路でも危ない所がたくさんあります。
⑤積極的に推進すべき	面白そうだと思うけど利権が絡みに絡み大変そう。ただもうちょいうっすい目で見ると、今会議で分けしてる地区ごとの中にすべてそろえばいいと思うと解決は見える気がする。イオンさん来てほしい…！！
⑤積極的に推進すべき	時間はかかるが是非進めてほしい。街の魅力度もアップする。
⑤積極的に推進すべき	駅前の人だけでよく、市場は駅前から離れてもよいかも

⑤積極的に推進すべき	<p>未来的思考に立てば今から進めていく事だ大切。次世代型移動ツールができれば、自家用車の必要性は下がるのではないか。</p>
⑤積極的に推進すべき	<p>せっかくあるアプリを使いこなせない。</p>
⑤積極的に推進すべき	<p>所沢市は総合的に判断して非常に住みやすく恵まれた環境だと思いますが、自動車の交通に関しては、道路が狭く、渋滞が多く、交差点や信号機の数も多いため、全国的に見ても劣悪な環境であると感じます。人口密集地の宿命でしょうか。</p> <p>ですが、所沢にはその不便さを大いに上回るほどに鉄道とバスのサービスが充実しているので、一般市民には公共交通機関の使用を促すと同時に、駅周辺などの最も混雑するエリアでは商用車以外の自動車の交通規制なども設けてよいと思います。</p> <p>会議中は「気候変動対策は我慢しなければならないというイメージを変えたい」という話もあり、大変素敵な考え方だと思いましたが、環境保全という難題に取り組む以上、必要かつ避けられない市民の「我慢」もあると思います。</p>

## 施策 21. エコ車両の利用とエコドライブの促進

市民は電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車を使うようにし、渋滞を避ける運転やエコドライブを行う。行政は電気自動車、燃料電池車の購入時の補助額を高め、わかりやすく発信する。自動車会社は、豊富なラインアップで電気自動車を販売する。また、社会全体で電気自動車の充電場所を増やしていくとともに、カーシェアも整備していく。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	電力不足が解決しない限り難しいと思う。
③どちらでもよい	渋滞がどうしても発生するから、西武球場辺りから西所沢までは無理なのでツライ。電気自動車は修理が大変だから無理。
③どちらでもよい	国でやろうとしていることは、市でわざわざ取り上げなくても良いのでは。
③どちらでもよい	駅周辺からカーシェアが進んできている。郊外の戸建ては車両がないと不便。エコ車両も、化石燃料エネルギーではなく、自然エネルギーから供給出来るようになればいいので、自然エネルギーのPRもあわせて出来れば。
④推進すべき	他の地域と意識する時の抜け道が何番か通っている関係で、スピードを出す車が多いと感じます。エコドライブはそういった意味でも推進してほしいです。 実際に電気自動車が走っている風景を先に用意することで、自分が持つビジョンも描けると思うので、市の車として「ところんカー」など走らせてほしいです。
④推進すべき	理想的なのは公共交通機関を利用してもらうことでしょうかから、補助を出しすぎるのはあまり良くないのではないかと。
④推進すべき	電気自動車の購入は中国車が安い。何故そうなのか研究すべき
④推進すべき	エコドライブだけでは効果が薄い。電気自動車のコスト減と購入費用補助の組み合わせで導入のハードルを下げていく必要あり。
④推進すべき	公共施設で使う車両は積極的にエコ車両にするべきである
④推進すべき	ただし、現状の購入時補助金とカーシェアの整備には多くの問題点があり、慎重な制度設計と成果の検証が必要。少なくとも今積極的に推進するべきではなく、2025年からアクセルを踏むべき施策だと考える。また、充電場所の増設は喫緊の課題だが、規格は重要であり件数より中身を充実してもらいたい。
⑤積極的に推進すべき	マンションや団地などに充電設備を設置
⑤積極的に推進すべき	車両価格の問題は大きいと思う。
⑤積極的に推進すべき	デザインが気に入るクルマがあれば買います。
⑤積極的に推進すべき	各集合住宅などのインフラ整備に補助金を出してほしい

⑤積極的に推進すべき	<p>例えば私は個人的にはイーロンマスクのテスラ車のような電気自動車にも興味がありますが、リチウムイオンバッテリーの体積当たりのエネルギー効率の悪さ・充電時間・雪面での不便性、そして何より、「バッテリー生産時の環境への負担」「再エネ由来の電気の確保困難」を考慮すると、電気自動車の推進は非現実的かつ時期尚早です。</p> <p>また、ガソリンスタンドは撤去が困難であり、その再開発にも非常にコストがかかります。</p> <p>一方で、バイオ由来の燃料生産も研究が進んでおり、特に下水汚泥を利用した燃料生成は収率もよく、更に従来は海に回収できなかったリンの回収もできるため、実用化が叶えばゼロカーボン化に大きく近づけると思います。</p> <p>私個人としては、欧州諸国に迎合するように電気自動車利用を拡大するのは断固反対です。</p> <p>それよりも、日本の自動車産業が既に持つ高効率のエンジンと、既に複数の企業が参入している下水汚泥燃料化事業を最大限活用し、環境保全に繋げていくのが、我々が選ぶべき道であると強く信じています。</p>
------------	---

## 施策 22. 輸送の削減と効率化を図る

自家用車を使わなくても日常の買い物ができるように、スーパーマーケットはエコな自動車を使った配送サービスを整備する。また近くにスーパーがない地域には、移動スーパーのサービスを行う。コンビニは、搬入回数を減らせるよう配送制度を整える。また、事業者が連携して、宅配物・郵便物をまとめて運べるようにする。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	これは事業者にゆだねる問題で行政が推進する施策ではない。サービスが収益につながらなければ継続性は担保されない。
③どちらでもよい	お店の経営に市が関与するのは難しい問題がいくつか出てくると思うので、積極的に推進するべきとは思いません。 昔コンビニでアルバイトをしていた時、野菜の100円セット(箱で野菜を買い店の裏で小分けに梱包します)の売れ行きが好調でした。 市が市内の農家から野菜を買い取り、障がいのある人たちに小分け包装を依頼し、「所沢野菜」と称して市内の店舗に卸すというのはどうでしょうか。
③どちらでもよい	うちの周りは移動スーパーとくしまるがあるから、現存しているシステムです！！かわいい曲流れてる。
③どちらでもよい	推進すべきと思うが、あくまで事業者の取り組みで、市民の関わり方がわからない。
③どちらでもよい	業者の負担が大きいし、市レベルでやれることではないと思う。
④推進すべき	巨大な配送拠点が必要
④推進すべき	必要と思うが実施主体が行政・業者であり初めから個人でできることは少なそう。
④推進すべき	コープなどの活用、高齢者、子育て世代に共感出来れば。
⑤積極的に推進すべき	人材不足。
⑤積極的に推進すべき	大手スーパーと協力してスーパーの少ない地域に移動スーパーを持っていくことで移動の効率化を図る
⑤積極的に推進すべき	公共衛生の観点としても良いと思う。
⑥わからない	現状を見ると、道路がめちゃくちゃな都市づくりすぎる。道づくりして街(まち)なし
⑥わからない	民間事業者等の理解と協力が不可欠で実現できるか不明

### 施策 23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める

自転車通行レーン・自転車用道路、歩道の整備を推進し、自転車・徒歩交通の利便性を向上させるとともに、ガードレールや街灯が不足している道路、段差・凹凸の多い道路の整備を進め、交通の安全性を確保する。道路整備の財源とする寄付制度等を創設し、寄付者に特典を付与する。

選択	自由意見
④推進すべき	寄附者を見つけるのが大変では
④推進すべき	無電柱化はぜひ推進してほしい。道路拡幅よりはるかに行きやすい事業と考えられる。
④推進すべき	高齢者ドライバーの事故を予防する為にも、安全な歩道や自転車道は欲しいところ。
④推進すべき	道路整備と、ゼロカーボンがどのようにつながるのか周知が難しい
④推進すべき	毎年のように道路を掘り返しているが、もっと計画的にやるべき。
④推進すべき	整いつつあると思いますが、安心して歩ける・自転車走れる 道路作りは今後も続けていく必要があると思います。
⑤積極的に推進すべき	市内で生活スタイルの差が大きすぎると常々思っています。時間がかかるとは思いますが、ガードレールの設置や歩道の拡張は絶対にしてほしいです。登下校中の小学生に車が突っ込むような悲しい事故は二度と起こってほしくありません。 安心して命を預けられる市=エコ活動に専念できる市、と言えらると思います。市の中心部の生活水準が、市の全体に広がってほしいです。
⑤積極的に推進すべき	20.でも書きましたが、ベビーカーや車いすで通れる歩道が少ないです。
⑤積極的に推進すべき	ホントにお願いします！切実にお願いします。道が広がりきれいになれば、家の周りの18から22までは連動的に解決すると思う。
⑤積極的に推進すべき	ゼロカーボンだけでなく、安全面でも効率的だと思います。
⑤積極的に推進すべき	クラファン案件。安全にもつながるし重要。街の魅力も向上する。お金出します。
⑤積極的に推進すべき	安全、安心した道路整備を望みます。危険な道路が多いと思う。公的機関の投資が多くなるので、優先度を決めてお願いしたい。山口の近辺は人口が少ないので優先度は低いですね。
⑤積極的に推進すべき	狭い道には苦勞をさせられているので、ぜひ推進してほしい。
⑤積極的に推進すべき	これは是非、推進してもらいたい。ただし、車の利用者にとってデメリットが発生しないよう工夫する必要があると考える。

## テーマ5 『移動から考えるゼロカーボン』の施策の優先度

選択	自由意見
18. 自転車・徒歩での移動を促進する	利点も課題も多く悩みました。
18. 自転車・徒歩での移動を促進する	所沢はシェアサイクルできる場所が少ないので、まだまだ増やしてほしい
18. 自転車・徒歩での移動を促進する	誰でも取り組める
18. 自転車・徒歩での移動を促進する	移動は簡単で、誰でも出来るところから取り組みがいいと思います。誰でも、安全、安心で移動出来る取り組みで、皆健康になればいい。
19. バスの利用を促進する	ところバス・ワゴンは導入されていれば個人で出来る最初の行動となり得る。
19. バスの利用を促進する	西武グループや JR とうまく連携して推進して欲しいです。
19. バスの利用を促進する	移動手段がない不安から車が手放せない人も多いと思うからです。バスが便利に使えれば車の必要がない。高齢者も安心だと思います。
20. 自家用車を使わなくてもよいまちづくり	車に乗らなくてもいい生活を目指したいが現実的に考えると車を手放すは難しいと思う。
20. 自家用車を使わなくてもよいまちづくり	福祉の観点からも必要なことだと思う
20. 自家用車を使わなくてもよいまちづくり	何度も言いますが、未来的思考です。未来に生きる人達の為に準備を始めなくてはなりません。
20. 自家用車を使わなくてもよいまちづくり	日本は自動車税が高かったり、高速道路が未だに有料であったりと、現時点で既に自動車に対する冷遇は諸外国よりも激しいと思います。一方で、个体蓄電池やバイオ燃料など、気候変動対策の為に技術への投資は極端に薄弱であり、技術的に欧米や中国など諸外国に取り残されていく状況にあって、これは大変危険であると感じます。 所沢市が他の市区町村に率先垂範するように、駅周辺のマイカー交通規制やバイオ燃料プラントの誘致に取り組んでみるというのはいかがでしょうか。もし成功すれば、交通渋滞による無駄の削減やエネルギー自給率向上に大いに寄与できると思います。
20. 自家用車を使わなくてもよいまちづくり	高齢の親と住んでいますが周りのスーパーがほとんどなくなり、今一番望んでいることだから
21. エコ車両の利用とエコドライブの促進	これから車を買う人になるべく電気自動車を買ってもらえるようにすれば、時間を重ねるにつれてガソリンの使用量を減らせると思います。
21. エコ車両の利用とエコドライブの促進	自分自身が車が好きだから、どうしても車なしの生活はできない、、補助金を充てて購入できる価格であればすぐにでも購入したい！
22. 輸送の削減と効率化を図る	アマゾンが毎日くるのは経費が大変。腐らないのであればまとめて配送もよい



22. 輸送の削減と効率化を図る	AI を活用した効率的な配送ルート設定や、複数の宅配業者が共同した地域別の集配所を設け、協同して配達できるようにする。
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	安全な生活が送れて初めて、エコな生活を意識できると思います。優先順位として、まず市民の安全を確保してもらえるとうれしいです。
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	外で走るのもできないほど狭い歩道、人間もすれ違えないし、チャリも、道が狭くて車道は危ない。イベントごとに詰まる渋滞、エコをする前提にすらたどり着けてないので直してほしいです。
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	安全な道路整備によって 18 番の自転車・徒歩での移動を促進することができるのではないかと思います
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	歩きやすい街なら歩く人が増えるのではないかと思います。
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	地球に良い+ヒトにも良い が街の魅力度向上にもつながると思います。
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	環境もそうだが、交通事故も怖いものである
23. 自転車や徒歩でも安全に通行できる道路整備を進める	内容がシンプルで全ての市民にとってメリットがある施策であるため。

## テーマ6『地域での連携から考えるゼロカーボン』

### 施策24. 地域の連携をまちづくりに生かす

高齢者や小中学生、自治会等が連携して、ゼロカーボンのまちづくりを進めていく。例えば、高齢者や小学生といった交通弱者の意見を反映して歩道や自転車道を整備したり、自治会と農家の連携により貸農園を拡大するとともに、遊休地での太陽光パネルの設置等を進める。

選択	自由意見
④推進すべき	歩道の振動発電は楽しそう。
④推進すべき	貸し農園は自宅近くにあればマンションの方など使用する人は多いと思う
④推進すべき	芝生・緑地化は周囲の砂による汚染が減り洗濯、掃除が減るという間接効果も期待できそう。
④推進すべき	ゆとりのある街づくりになると思う。
⑤積極的に推進すべき	地元の小中学校を出た友人たちが「家賃が安いから」と入間市や飯能市へ引っ越していきます。都心にやや近いという理由で、清瀬や成増も人気です。公立の小中学校を出た子どもが、いざ大人になって他の市で納税しているというのは、市としては痛手ではないでしょうか。 子どもの頃から「所沢市の一員である」という地元意識を育てることで、市民の地域参加が世代交代に合わせて循環していくと思います。
⑤積極的に推進すべき	所沢市民にいつも使う道路をどうしてほしいかの調査を行ってほしい。全体図から都市計画をたて、順次整備に向けてください。 「緑の条例」も良いですね。
⑤積極的に推進すべき	さまざまな人の意見に声が傾けられる、声が大きい人だけでなく、声をあげない人からも意見がもらえる地域が理想。その場作りが重要。
⑤積極的に推進すべき	様々な年代や立場の人の意見が反映されると思う
⑤積極的に推進すべき	地域の連携がどこから出来るか。
⑤積極的に推進すべき	意見の反映は重要だと思う
⑤積極的に推進すべき	素晴らしい考えだと思う。ただし、自治会はボランティア活動なので仕事が増えることを嫌がるかもしれません。行政の旗振りに期待する。

## 施策 25. 教育を通じた連携を促進する

大人から子どもまですべての世代へのゼロカーボンに関する教育を充実する。大学生から小中学生へ、環境活動実践者から学生へ等、ゼロカーボンへの取組を、世代間や属性間で情報交換・教え合うことを促進する。生涯学習推進センターなどで「ゼロカーボン講座（仮）」を開催し理解を深める。また、例えば自動車学校でエコドライブ講習を行う。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	私が小学生のころ、総合の時間に学んだことはあまり覚えてないので、有効ではないのではないかな。
④推進すべき	市全体の積極的な取り組みの姿勢が必要
④推進すべき	学校教育から始めることで、世代的に長く続くのでは。
④推進すべき	子供が率先してやることにより大人として恥ずかしい振る舞いが出来なくなり結果大人にも浸透する
⑤積極的に推進すべき	学校だけで教えていると大人よりも子どもたちの方が詳しいという状況になり、子どもたちは「あんまり頑張ってやらなくてもいいのかな」と感じてしまうかもしれません。 大人も頑張っているよ、という背中を見せるためにも、大人向けの講習を充実させてほしいです。
⑤積極的に推進すべき	小中学校で取り上げる場合は、農業体験などの実際の体験を重視してほしい。また、各学年ごとにわかるように補助教材を作り、活かしてほしい。ただし、机上で学ぶだけでなく、「エアコンの電気はどこから来るのか」みたいな課題を学校図書館などを使って調べ学習してほしい。自分で課題をもって調べることで、しっかり自分事としてとらえる体験を積み重ねて欲しい。地域で世代間交流も大事だと思うが、なかなか難しい。
⑤積極的に推進すべき	子供だけではなく大人もみんなたのしくできそう。エコ・ドライブシュミレーターが駅とか市役所とかゲームセンターでやってエコ・ドライブシール出てくるとかなら楽しそう。車系のゲーム素体なんていっぱいあるからやろうと思えばできる。
⑤積極的に推進すべき	参加をどうやって促すかが、課題となりそうだが、大人単体では参加し辛い（家を放っておけない）が、子どものイベントや、行事への参加は前向き捉えられ、近年は参加率も高いと考える。そのあたりに組み込めると良さそう。
⑤積極的に推進すべき	子どもから学習することが将来に渡りゼロカーボンを推進する最大の効果と考える。
⑤積極的に推進すべき	地球に住めなくなるという危機感を、しっかりか学ばなくてはなりません。子どもの時から学び続ければ、誰でも当たり前のように自然に環境に配慮した生活を送るでしょう。
⑤積極的に推進すべき	社会全体が変わるためには、小さい時からの教育が大切
⑤積極的に推進すべき	会議に子供が参加しても良かった。（中学生～でも）
⑤積極的に推進すべき	ただし、社会の分断や間違った同調圧力の高まりにつながらなよう、細心の注意を払う必要がある。

## 施策 26. 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する

行政、事業者、自治会、市民が連携して、ゼロカーボンについて啓発・広報する。例えば、行政と出版社が協力してアニメを使ってゼロカーボン活動について啓発・広報したり、自治会やマンションごとの CO2 排出量が見えるように関係者や企業が連携する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	啓発アニメが面白くなるビジョンが見えない
②あまり推進すべきでない	広告宣伝は楽しいので、安易に進めがちだが、お金がかかる割に効果がみえない。それなら街づくりにお金をかけてほしい。
③どちらでもよい	見える化は悪者を作り出します。気をつけなければならない思考です。
④推進すべき	CO2 の見える化はよいと思う
④推進すべき	今後は当たり前前にゼロカーボンを取り入れていくことであり、メディアの協力は必須。
④推進すべき	角川の企業パワーを使えば、宣伝効果も高くなると思う。
④推進すべき	予算を抑え、工夫で勝負する取り組みだと思う。
⑤積極的に推進すべき	企業だけ、市だけ、市民だけ、どこかだけが突出して活動していると、空回りしているように見える危険があります。地に着いた企画を着実に進めているという印象を広く与えるためにも、連携は欠かせないと思います。自分のスキルを出品できる「ココナラ」や「クラウドワークス」といったサービスがありますが、それに近い場を市が設けてもいいと思います(掲示板のようなものでも構いません)。それぞれができることを提示し合って、お互いマッチングできるようなきっかけがほしいです。
⑤積極的に推進すべき	KADOKAWA 発信のアニメも楽しいし、何でもできることはやってみれば良いと思う。そしたらご当地感あって面白い。
⑤積極的に推進すべき	ところん頑張れ。
⑤積極的に推進すべき	とてもいい広報ツールがあるので、あとは PR の仕方でしょうか。
⑤積極的に推進すべき	KADOKAWA のようなメディアに強い事業者と連携して市が取り組むゼロカーボン事業に関して発信していければと思います。

## 施策 26. 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する

行政、事業者、自治会、市民が連携して、ゼロカーボンについて啓発・広報する。例えば、行政と出版社が協力してアニメを使ってゼロカーボン活動について啓発・広報したり、自治会やマンションごとの CO2 排出量が見えるように関係者や企業が連携する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	啓発アニメが面白くなるビジョンが見えない
②あまり推進すべきでない	広告宣伝は楽しいので、安易に進めがちだが、お金がかかる割に効果がみえない。それなら街づくりにお金をかけてほしい。
③どちらでもよい	見える化は悪者を作り出します。気をつけなければならない思考です。
④推進すべき	CO2 の見える化はよいと思う
④推進すべき	今後は当たり前前にゼロカーボンを取り入れていくことであり、メディアの協力は必須。
④推進すべき	角川の企業パワーを使えば、宣伝効果も高くなると思う。
④推進すべき	予算を抑え、工夫で勝負する取り組みだと思う。
⑤積極的に推進すべき	企業だけ、市だけ、市民だけ、どこかだけが突出して活動していると、空回りしているように見える危険があります。地に着いた企画を着実に進めているという印象を広く与えるためにも、連携は欠かせないと思います。自分のスキルを出品できる「ココナラ」や「クラウドワークス」といったサービスがありますが、それに近い場を市が設けてもいいと思います(掲示板のようなものでも構いません)。それぞれができることを提示し合って、お互いマッチングできるようなきっかけがほしいです。
⑤積極的に推進すべき	KADOKAWA 発信のアニメも楽しいし、何でもできることはやってみれば良いと思う。そしたらご当地感あって面白い。
⑤積極的に推進すべき	ところん頑張れ。
⑤積極的に推進すべき	とてもいい広報ツールがあるので、あとは PR の仕方でしょうか。
⑤積極的に推進すべき	KADOKAWA のようなメディアに強い事業者と連携して市が取り組むゼロカーボン事業に関して発信していければと思います。

## 施策 27. コミュニティでの取組を促進する

農家、地域の店舗、自治会、学校・学生、マンション管理組合などが協力し、ゼロカーボンに係る地域の活動を行っていく。例えば、多世代・多職種によるバザーでの衣類のリユースを行ったり、おしゃれなマルシェを立ち上げ、農産品の地産地消を進めるほか、自治会館等に移動販売車を招いての共同購入を進める。また、余った食品の分配を行い食品ロスを削減する。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	コミュニティのトラブルにつながらないか、十分な配慮がされなければならない
③どちらでもよい	地域との関わりが面倒。
④推進すべき	他県出身独身だと、コミュニティがないから推めてはいいと思うけど関わり合いがない気がする。
④推進すべき	自治会 PTA などの協力が必要
④推進すべき	所沢市は無人販売所のリーフレットを作るなど行っている。あとは周知の方法だと思う。
④推進すべき	地域コミュニティの活用
⑤積極的に推進すべき	今までも所沢市内で行われてきた地域参加の施策だとは思いますが、ぜひ世代別にプロモーションを打ったり、市の広報がエリアごとに特色をリサーチして発信したりと、市民像をより細分化して行なってほしいです。 「市のイベントが開催されているなあ」と思われているような状態だと、市のイベントに参加するのが好きな人たちが、連続で参加するだけになってしまいます。「このイベント行ってみたい」という気持ちを引き出すために、よりターゲットを絞って複数の施策を開催してほしいです。
⑤積極的に推進すべき	習志野市で地域住民が公園（ひろば）の集まった世代の交流をしながら楽しむ企画をしていると聞いたことがある。椿峰でも一時同じようなイベントを企画していたことがあったが、コロナのため続いていない。 コロナの様子を見ながらだが、そのような取り組みを紹介し、地域の人たちが集う場を設定する。お互いに知り合いになる。その中で、ゼロカーボンの視点を共有する。みたいな少しずつ段階を踏まえた取り組みをしていけるようになると良いと思う。やはり、広報が必要。
⑤積極的に推進すべき	今回のような市民会議をまた新たなメンバーで開催してみても良いのでは？
⑤積極的に推進すべき	オシャレなマルシェ。明るい街づくりにと楽しい体験がゼロカーボンにつながると最高です！
⑤積極的に推進すべき	みんながみんなコミュニケーションを取りたいわけではない。
⑤積極的に推進すべき	実現を強く望む。ただ、旗振り役がイメージできない。まずは、小さな成功体験をつくる手助けを行政に期待したい。

## 施策 28. マチごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る

高校生、大学生、高齢者といった複数の世代が参加・連携し、ゼロカーボンを進めやすいマチづくりを計画・実装するとともに、それを強化するため、ゼロカーボンに向けた取り組みを評価する機関・委員会を設置する。また、市民がゼロカーボンに取り組むために、事業者や行政に要望を伝えたり、地域の多様な主体が対話を通して一緒に活動を考えたりする場を作っていく。

選択	自由意見
①全く推進すべきでない	高校生の身から言わせてもらうなら、結構忙しいのであまり参加できる人はいないと思う。
③どちらでもよい	意見が発散しないようにするにはどうするのか？
④推進すべき	どういう方向で何をしたいのかっていうのをみんなで、共有するのは大事だと思う。で、各々何ができるかって問題は人や企業にもよるものだと思うから『指針』の明確化は必要かと。長期、短期、中期とかはあると思うけど。
④推進すべき	市民だけでなく専門的な知識も必要。建築家・行政・自治会・PTA そのかたたちの同席必要
④推進すべき	対話の場作りは重要？
④推進すべき	専門知識を持った委員会がPDCAを考えてそのサイクルを回すことが必要。
④推進すべき	恒久的な組織ができ、評価する取り組みができるといい。
⑤積極的に推進すべき	環境問題は誰がどれだけ寄与したか分かりづらいので(自分のおかげで地球温暖化がストップしたんだとは誰も言えないと思います)、どうしても「取り組んだ」→「頑張った」という感覚値での感想だけが残ってしまう気がします。 特に市民たちだけでスタートする企画は、数値のカウントなどが厳密にできず、感覚に寄ったものになっていく恐れがあります。 感覚にフォーカスした企画は感動を誘う演出や達成感を稼ぐ方向に迷走する心配があり、その手の企画がどれだけ盛んになっても、いまいち信頼できなくなってしまいます。 市の方で取り組みを評価する機関や委員会があれば、どれだけ市民が活動を行っても秩序が保たれ、安心して取り組みを行ったり、応援することができます。ぜひ設置してください。
⑤積極的に推進すべき	少しずつ、少しずつ進めないと、あまり頑張ってやるとやっている人が地域で浮いてしまう。だけもついてこないことにもなりかねない。これは実に難しい問題です。
⑤積極的に推進すべき	これこそ行政が主体となるべき施策。
⑥わからない	経済特区をつくり、実際に生産・販売・消費というサイクルを試行錯誤しながら(パイロット経済システムとして)かたち作っていくことと思う
⑥わからない	そういった場を作るのはいいことだと思うが、評価となると市民レベルでは限界がある

## テーマ6 『地域での連携から考えるゼロカーボン』の施策の優先度

選択	自由意見
24. 地域の連携をマチづくりに生かす	様々な人が力を合わせなければ改革は進まないだろうと思うため。
24. 地域の連携をマチづくりに生かす	直近の課題だと感じたから。
24. 地域の連携をマチづくりに生かす	どれもいい取り組みですが、緑の条例を策定するだけで満足するのではなく、どうやって活用し、恒久的に継続して取り組みを進めるために、あらゆる手段を市民、企業等と連携し活動することが大切だと思います。これが始まりで、長く続けることができますように。
24. 地域の連携をマチづくりに生かす	一部の人のみ会議で決定してしまうと、そうでない人にとって生きづらい街になってしまう恐れがある
25. 教育を通じた連携を促進する	それには、管理職の意識改革も必要です。 でも、これからの時代を生きていく子どもたちが自分事としてとらえなければ、「生きていくことが困難」な地球になるかもしれない。長い目で見た教育改革は必須だと思います。 頑張って書きました。疲れました。ふう。
25. 教育を通じた連携を促進する	駅にエコ・ドライブシュミレーターあったらやりたいなあ…と心のなかで盛り上がった。
25. 教育を通じた連携を促進する	ゼロカーボンについて正しい知識を知らないと実践へと移すことが難しいのではないかと考えたため
25. 教育を通じた連携を促進する	まずは未来を担っていく若者たちに今の現状を知ってもらい、改善するためにはどうしたらいいのか、ということを考える機会が必要だと思いました。 様々な施策を行うのはそれからののかな、と思いました。
25. 教育を通じた連携を促進する	どれも必要だと思います。が、未来のために考えると、ゼロカーボンを当たり前にしていく教育が早い段階で必要だと思いました。
25. 教育を通じた連携を促進する	子どもたちの認識を変えることが大切
25. 教育を通じた連携を促進する	子どもの意識を高め、現在ゼロカーボンの為にやっていることが、加速度的に広がることを期待する。
25. 教育を通じた連携を促進する	地域やコミュニティでは参加する人とならない人 ばらつきがでると思う、参加する人は元々意識が高いのでは？学校での活動なら興味の有無に関わらず皆が参加するので。
25. 教育を通じた連携を促進する	知らないのと知っているのでは、取り組みに違いが出ると思うので、教育は、大事
25. 教育を通じた連携を促進する	是非未来を生きる子供たちに知らせてあげたい。子供たちの新発想で色々な知恵を探り出して欲しいからです。



<p>26. 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する</p>	<p>ゼロカーボンと直接は無関係ですが、地域連携とまちづくりという漠然としたテーマに関連して意見があるのでここに記述します。</p> <p>所沢市並木にある環境省の事業施設では、放射性物質の管理に関する実験を行うと聞きました。私が居住する、防衛医科大学校の学生舎の隣です。</p> <p>私はこれについて特に反対などはしませんが、詳しい説明もなくコソコソ実行に移されていることに若干の憤りを覚えます。もしこれが県内や市内の別の市街地付近であったなら、近隣住民の反発やマスメディアによる糾弾は避けられないでしょう。私たち防衛医科大の学生はナメられているのでしょうか？或いは逆に、その気があれば市が住民の意見を無視して事業を展開できるということも示しているように感じます。</p> <p>このアンケートを集計してくださっている職員の方を不快にしてしまったら大変申し訳ありません。私は誰を非難すべきか分かりません。ともあれ、所沢市の強力な公共事業実行力と誘致力、そして他の自治体に先んじるリーダーシップに最大限期待致します。</p>
<p>26. 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する</p>	<p>ゼロカーボンを目指すならもっと多くの人に周知しないと達成できないと思います。</p>
<p>26. 地域連携でゼロカーボンへの取組や活動を広報する</p>	<p>アニメを使えば幅広い世代に知ってもらえるし、内容もすっと入ってくると思います。</p>
<p>27. コミュニティでの取組を促進する</p>	<p>繰り返しです。明るい街づくり+楽しい体験がゼロカーボンにつながるようにできると良いと思います。</p>
<p>28. マチごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る</p>	<p>企画そのものはやる気のある人が集まれば勝手にできてしまいますが、体制づくりは市がやらねばならないことだと思ったので、28を選択しました。</p>
<p>28. マチごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る</p>	<p>もっと大きくまきこんでやっていきたい。大きい波をつくる。やがて国へ</p>
<p>28. マチごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る</p>	<p>市民への訴求効果が高そうだから</p>
<p>28. マチごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る</p>	<p>推進するには中心となる会議体や委員会が必要で。有識者だけではなく、アイデアを自由に出したり、市民感覚で考えたりする人達が加わる事が大切だと思います。</p> <p>是非、私は加わりたいと思っています。</p>
<p>28. マチごとゼロカーボンを協働で進める体制を作る</p>	<p>実現性が高く、柔軟な発想や施策の選択につながる取り組みにみえる。</p>





**ZERO**

**CARBON**

**CITY**

**TOKOROZAWA**